
令和 8 年度
下関市 市民実感調査
報 告 書

下 関 市

はじめに

本市においては、近年、人口減少・少子高齢化等に伴う歳入歳出両面の構造的な問題に加えて、物価高騰などによる社会・経済への影響もあり、財政状況は厳しい状況が続いていくものと思われます。

新たな歳入確保や歳出構造の改革、職員定数の削減などで対応していますが事業の優先順位を意識し、「選択と集中」により事業数を減らしていかなければ、市民生活に必要なサービス水準を維持していくことができなくなってしまう。市民ニーズを把握して成果重視の市政運営を行うことが肝要であり、市民満足度の向上と併せて、行政の説明責任を果たしていくことが求められています。

このため、市民実感調査は市の取り組んでいる施策について、市民のみなさまがどの程度重要と感じているか、どの程度満足しているかを調査し、その結果から市民ニーズを把握し、第3次下関市総合計画をはじめとした各種施策の成果指標の実績値等として活用するものです。

市民実感調査の結果及び本報告書の内容は、現在の市民の価値観、要求の方向性を示すものとして取りまとめており、市が進むべき方向性を検討する際の参考とし、「将来を見据えて下関市に必要なものは何か」、「行政として責任をもって行っていかなければならない施策は何か」ということを検討してまいります。

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査方法	1
(5) 調査内容等	1
(6) 回収状況	3
2. 集計・分析方法	3
(1) 回答者属性の内訳	3
(2) 回答者属性によるクロス集計	3
(3) 分析方法	3
(4) 集計単位	3
3. 回答者の属性内訳（全世代）	4
(1) 性別／年齢／居住地域	4
(2) 職業	6
(3) 居住の経緯	7
(4) 居住年数	8
(5) 下関市への愛着	9
(6) 居住継続の意思	9
(7) 住み心地	15
4. 調査結果（全世代）	16
(1) 住み心地のスコア化	16
(2) 各設問の集計結果	17
(3) 調査結果の属性別スコア	26
(4) 修正地域参画総量指標（mGAP）	29
5. 回答者の属性内訳（子育て世代）	33
(1) 性別／年齢	33
(2) 職業	34
(3) 居住の経緯	35
(4) 居住年数	36
(5) 下関市への愛着	37
(6) 居住継続の意思	38
6. 調査結果（子育て世代）	41
(1) 住み心地のスコア化	41
(2) 子育てのしやすさ	42
(3) 市に対して特に充実を期待する子育て支援	43

（４）理想の子ども的人数と現実的な子ども的人数.....	4 5
（５）現実的に育てられる子ども的人数が理想の子ども的人数よりも少ない理由..	4 6
（６）挑戦でき活躍しやすい環境.....	4 7
（７）やりたい仕事の見つけやすさ.....	4 8
（８）仕事の継続意向.....	5 0
（９）就職・転職先.....	5 2
7. 調査結果（全世代＋子育て世代 共通質問）.....	5 3
（１）挑戦でき活躍しやすい環境.....	5 3
（２）やりたい仕事の見つけやすさ.....	5 4
（３）仕事の継続意向.....	5 6
（４）就職・転職先.....	5 8

1. 調査概要

(1) 調査目的

この調査は、第3次下関市総合計画に基づいて取組を進めている各行政分野の施策の実施状況やまちづくりの方向性などについて、市民の生活実感に基づいた評価や考え方を聴くことによって、当該施策に対する市民の意識を把握し、今後の施策展開や市政運営の方向性を検討するための基礎資料とするものです。

(2) 調査対象

全世代：市内在住の18歳以上 2,500人（住民基本台帳より無作為抽出）

および 本市公式ホームページ等を通じた公募回答者

子育て世代：市内在住の就学前児童及び就学児童の保護者 2,000人

（住民基本台帳より児童を無作為抽出）

※調査基準日：令和8年6月9日（火）

(3) 調査期間

令和8年6月9日（火）から6月30日（火）まで

(4) 調査方法

全世代：無作為抽出した対象者に対し、郵送により調査票を配布し、郵送返送およびWEB回答により受付を行いました。併せて、本市公式ホームページ等を通じた公募によるWEB回答の受付も行いました。

子育て世代：無作為抽出した対象者に対し、郵送により回答依頼状を配布し、WEB回答のみにより受付を行いました。

(5) 調査内容等

① 設問内容

全世代：第3次下関市総合計画の施策体系に基づき、各施策に係る市民の評価を尋ね（33問）、施策評価の成果指標の実績値として活用することとしました。併せて、就職・転職時に下関市内・市外のいずれを希望するのかという点のほか、市政に関する取組への関心や参加状況（各5項目）についても尋ねました。

また、今回の調査では、下関市に対する気持ちの程度（「地域の推奨意欲」、「地域活動への参加意欲」、「地域活動への感謝意欲」の3項目）を、最小の0から最大10までの数値で尋ねることにより、シティブロモーションの活動効果を定量的（数値）に可視化する「修正地域参画総量指標（mGAP）」を算出しました（29ページ参照）。

子育て世代：下関市の子育てのしやすさや充実を期待する子育て支援、理想及び現実的な子どもの人数、仕事についての考え方を尋ねました（11問）。

② 回答者属性

- a. 性別
- b. 年齢（年代ごとの区分）
- c. 居住地域（本庁、本庁以外の支所及び総合支所単位）
- d. 職業
- e. 居住の経緯
- f. 居住年数
- g. 住み心地
- h. 下関市への愛着
- i. 居住継続の意思
- j. 居住継続の意思に係る理由

※1 居住地域の「山陰地域」は「川中・安岡・吉見・勝山・内日支所管内」、
「山陽地域」は「長府・王司・清末・小月・王喜・吉田支所管内」と定義します。

※2 年齢の「20歳代以下」は「18歳～29歳」と定義します。

③ 市民実感調査リーフレット

市民実感調査の意義、調査協力へのお願いを市民に分かりやすく伝えるため、調査票の送付の際に市民実感調査リーフレットを添付しました。

(6) 回収状況

【全世代】

発送数 (無作為抽出)	有効回答数
2,500	1,306

*人口：238,154人

(令和8年3月末現在、住民基本台帳)

18歳以上75歳以下は153,940人

回答方法		有効回答数
用紙	Web	
422 (32.3%)	884 (67.7%)	1,306

【子育て世代（全て Web 回答）】

発送数 (無作為抽出)	有効回答数	回収率
2,000	574	28.7%

注1) 全世代調査の有効回答数(Web 回答)には、本市公式ホームページ等を通じた公募回答が含まれるため、全体の回収率は算出していません。

注2) 設問内容が分からない場合や回答が判断できない場合は、空欄(無回答)とすることとしているため、有効回答数は設問により異なります。

2. 集計・分析方法

(1) 回答者属性の内訳

回答者属性に関わる設問 10 項目について集計しています。

(2) 回答者属性によるクロス集計

回答者属性 10 項目について、必要に応じてクロス集計を行い、市民(回答者)の構成を整理しました。

(3) 分析方法

全世代：第3次下関市総合計画の施策体系に基づいて、各施策に係る市民の「行動」、「感じ方」を把握する設問を設定し、「～をしている市民の場合」、「～と感じている市民の割合」のように定量化しました。これらは施策評価における成果指標の実績値として活用します。

子育て世代：各設問について、単純集計・クロス集計を行い、子育て支援策を検討する際の基礎資料として整理しました。

(4) 集計単位

- ◇ 回答者に占める各設問の回答割合や各属性の構成比は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの百分率で表示しています。そのため、各項目の比率を合計した値が100%にならない場合があります。
- ◇ 一部の人を対象とする質問では、当該質問の対象者数を分母にして算出しました。
- ◇ 各設問とも、「未記入」、「無効回答(二重回答、判読不能)」については「不明」としています。

3. 回答者の属性内訳（全世代）

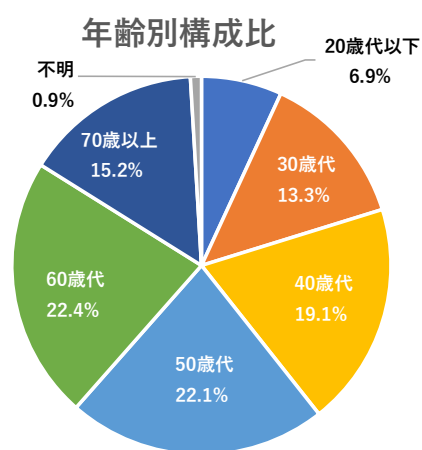
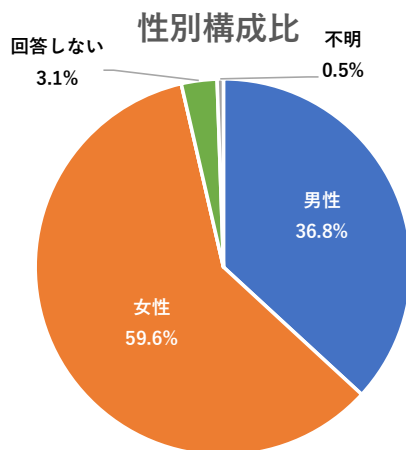
（1）性別／年齢／居住地域

性別

	n	%
男性	481	36.8
女性	778	59.6
その他	0	0.0
回答しない	40	3.1
不明	7	0.5
合 計	1,306	100.0

年齢別

	n	%
20歳代以下	90	6.9
30歳代	174	13.3
40歳代	250	19.1
50歳代	289	22.1
60歳代	293	22.4
70歳以上	198	15.2
不明	12	0.9
合 計	1,306	100.0



男女・年齢別

		年齢							合計
		20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	
合 計	n	90	174	250	289	293	198	12	1,306
	%	6.9	13.3	19.1	22.1	22.4	15.2	0.9	100.0
男 性	n	31	64	82	111	109	82	2	481
	%	6.4	13.3	17.0	23.1	22.7	17.0	0.4	100.0
女 性	n	55	104	157	169	177	114	2	778
	%	7.1	13.4	20.2	21.7	22.8	14.7	0.3	100.0
回答しない	n	4	6	11	9	7	2	1	40
	%	10.0	15.0	27.5	22.5	17.5	5.0	2.5	100.0
不 明	n	0	0	0	0	0	0	7	7
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

- 市民総数：男性 111,216 人、女性 126,938 人（令和 8 年 3 月末現在。住民基本台帳による）
- 発送数：男性 1,275 人、女性 1,225 人
- 回答者数 1,306 人のうち女性がほぼ 6 割を占めています。

年齢別

	総数 ①	発送数 ②	抽出 係数 ②／①	回答数 ③	構成 比率
20歳代以下	23,762	356	1.50%	90	6.89%
30歳代	19,942	339	1.70%	174	13.32%
40歳代	27,916	444	1.59%	250	19.14%
50歳代	33,705	562	1.67%	289	22.13%
60歳代	30,589	495	1.62%	293	22.43%
70歳以上	18,026	304	1.69%	198	15.16%
不明	-	-	-	12	0.92%
合計	153,940	2,500	1.62%	1,306	100.00%

* 人口は、令和8年3月末現在。住民基本台帳による。

* 回答数には、属性欄の回答に記入がないものを含みます。

- 年齢別の回答数は「60歳代」(22.43%)が最も多く、「50歳代」(22.13%)もほぼ同水準です。一方、最も少ないのは「20歳代以下」(6.89%)となっています。

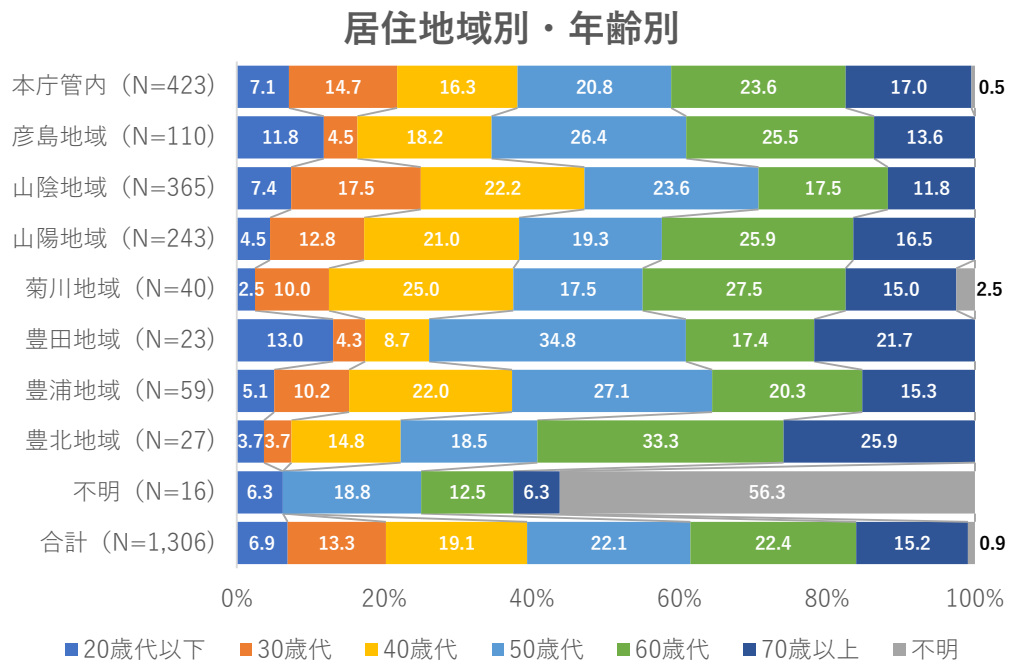
居住地域別

	人口 ①	発送数 ②	抽出 係数 ②／①	回答数 ③	構成 比率
本庁管内	56,985	585	1.03%	423	32.39%
彦島地域	21,679	235	1.08%	110	8.42%
山陰地域	75,803	840	1.11%	365	27.95%
山陽地域	50,840	537	1.06%	243	18.61%
菊川地域	7,014	69	0.98%	40	3.06%
豊田地域	4,044	44	1.09%	23	1.76%
豊浦地域	14,876	146	0.98%	59	4.52%
豊北地域	6,913	44	0.64%	27	2.07%
不明	-	-	-	16	1.23%
合計	238,154	2,500	1.05%	1,306	100.00%

* 人口は、令和8年3月末現在。住民基本台帳による。

* 回答数には、属性欄の回答に記入がないものを含みます。

- 居住地域別の回答数は「本庁管内」(32.39%)が最も多く、「豊田地域」(1.76%)が最も少なくなっています。

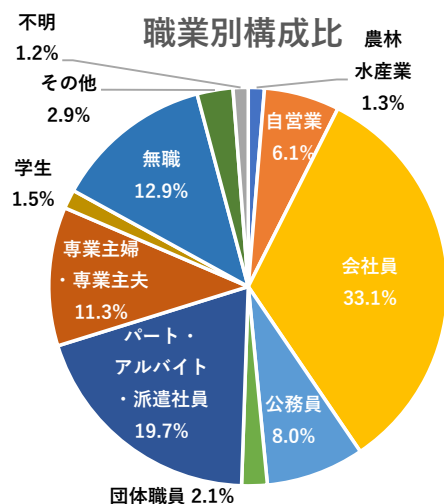


- 回答者の居住地域別・年齢別構成比をみると、全体では「50 歳代」及び「60 歳代」が合計で 4 割台半ばとなっており、特に「彦島地域」「豊田地域」「豊北地域」では 5 割を超えています。
- 「20 歳代以下」の構成比は、「菊川地域」等の 6 地域で 1 割未満ですが、「豊田地域」「彦島地域」では 1 割を超えています。

(2) 職業

職業別

	n	%
農林水産業	17	1.3
自営業	80	6.1
会社員	432	33.1
公務員	104	8.0
団体職員	27	2.1
パート・アルバイト・派遣社員	257	19.7
専業主婦・専業主夫	147	11.3
学生	20	1.5
無職	168	12.9
その他	38	2.9
不明	16	1.2
合 計	1,306	100.0



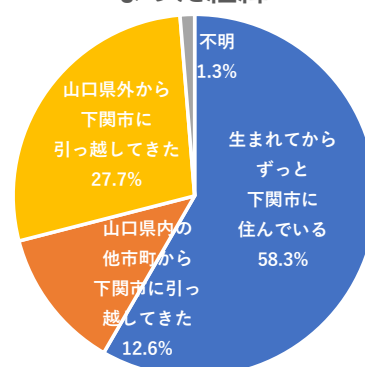
- 職業別では「会社員」が 3 割超と最多で、続いて、「パート・アルバイト・派遣社員」がほぼ 2 割、「無職」が 1 割超などとなっています。

(3) 居住の経緯

下関市に住むようになった経緯

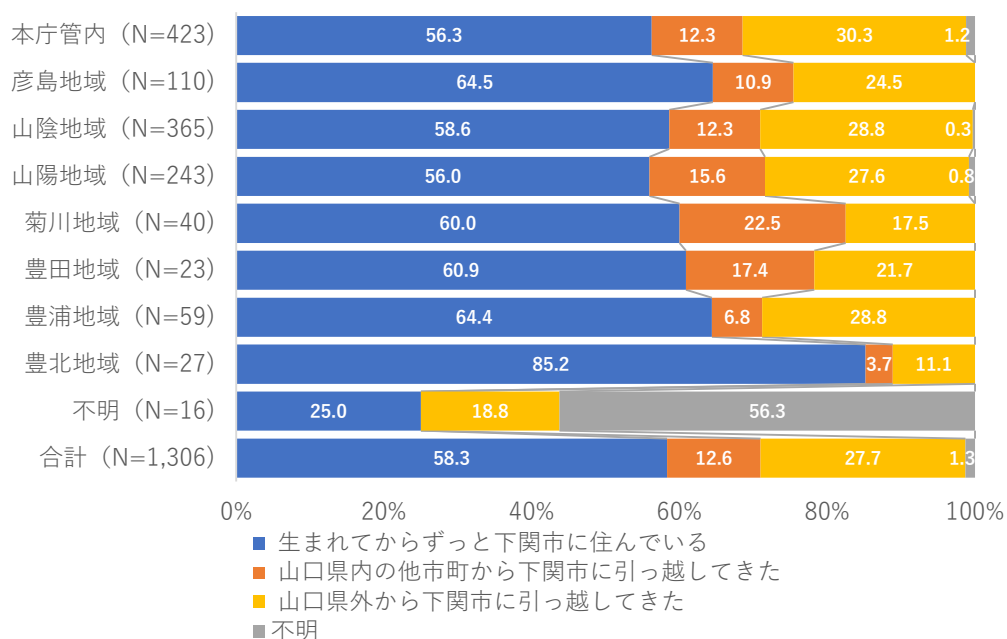
	n	%
生まれてからずっと下関市に住んでいる	762	58.3
山口県内の他市町から下関市に引っ越してきた	165	12.6
山口県外から下関市に引っ越してきた	362	27.7
不明	17	1.3
合 計	1,306	100.0

下関市に住むようになった経緯



- 下関市居住の経緯については「生まれてからずっと下関市に住んでいる」が約6割と最多で、続いて、「山口県外から下関市に引っ越してきた」が約3割、「山口県内の他市町から下関市に引っ越してきた」が1割超となっています。

居住地域別・住むようになった経緯別



- 下関市居住の経緯を居住地域別にみると、「豊北地域」では「生まれてからずっと下関市に住んでいる」が8割を超えているのに対し、「本庁管内」「山陰地域」「山陽地域」では、「山口県外から下関市に引っ越してきた」と「山口県内の他市町から下関市に引っ越してきた」の合計が4割を超えています。

山口県外から下関市に引っ越す前の都道府県

	n	%		n	%		n	%
北海道	1	0.3	石川県	3	0.8	徳島県	1	0.3
青森県	1	0.3	長野県	3	0.8	香川県	2	0.6
岩手県	1	0.3	岐阜県	1	0.3	愛媛県	1	0.3
宮城県	4	1.1	静岡県	4	1.1	高知県	1	0.3
秋田県	2	0.6	愛知県	10	2.8	福岡県	106	29.3
山形県	1	0.3	三重県	3	0.8	佐賀県	7	1.9
福島県	1	0.3	滋賀県	2	0.6	長崎県	5	1.4
茨城県	2	0.6	京都府	2	0.6	熊本県	8	2.2
栃木県	2	0.6	大阪府	22	6.1	大分県	3	0.8
埼玉県	8	2.2	兵庫県	9	2.5	宮崎県	4	1.1
千葉県	10	2.8	奈良県	1	0.3	鹿児島県	12	3.3
東京都	31	8.6	鳥取県	2	0.6	不明	16	4.4
神奈川県	18	5.0	島根県	4	1.1	合 計	362	100.0
新潟県	1	0.3	岡山県	11	3.0			
富山県	2	0.6	広島県	34	9.4			

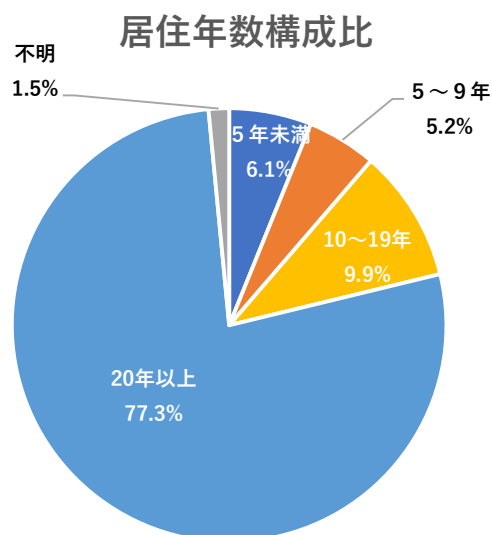
* 該当者のいない都道府県は記載を省略しています。

- 「山口県外から下関市に引っ越してきた」と回答した人の引っ越す前の都道府県は、「福岡県」が約3割で最も多く、続いて、「広島県」「東京都」等の順となっています。

(4) 居住年数

下関市での居住年数

	n	%
5年未満	80	6.1
5～9年	68	5.2
10～19年	129	9.9
20年以上	1,009	77.3
不明	20	1.5
合 計	1,306	100.0

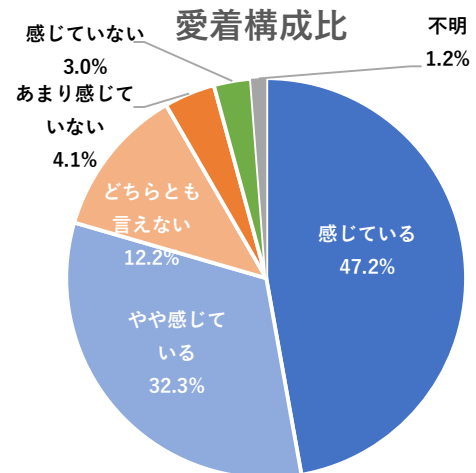


- 20年以上下関市に居住している人が最も多く、8割近くを占めています。

(5) 下関市への愛着

下関市に対して「自分のまち」として愛着を感じているか

	n	%
感じている	616	47.2
やや感じている	422	32.3
どちらとも言えない	159	12.2
あまり感じていない	54	4.1
感じていない	39	3.0
不明	16	1.2
合 計	1,306	100.0

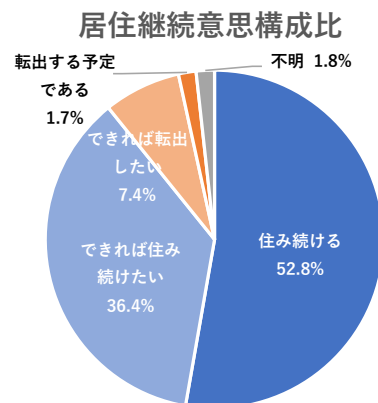


- 下関市への愛着については、「感じている」が約5割と最も多く、「やや感じている」を含めるとほぼ8割を占めています。「あまり感じていない」「感じていない」は、合計で1割に満たない水準です。

(6) 居住継続の意思

これからも下関市に住み続けたいか

	n	%
住み続ける	689	52.8
できれば住み続けたい	476	36.4
できれば転出したい	96	7.4
転出する予定である	22	1.7
不明	23	1.8
合 計	1,306	100.0



- 下関市に「住み続ける」又は「できれば住み続けたい」と回答した人は、合計で9割近くに達しています。

住み続ける（住み続けたい）理由、もしくは転出したい（する）理由〔複数回答〕

	全サンプル		居住継続意思別			
			住み続ける、 できれば住み続けたい		できれば転出したい、 転出する予定である	
	n	%	n	%	n	%
まちへの愛着・自信・誇り・土地柄	582	44.6	561	48.2	17	14.4
都市の魅力・センス・イメージ	106	8.1	79	6.8	25	21.2
家業、親の介護などの家庭の事情	313	24.0	297	25.5	15	12.7
働く場所（仕事）	438	33.5	384	33.0	52	44.1
通勤・通学などの交通の便	156	11.9	123	10.6	32	27.1
物価の水準などの暮らしやすさ	185	14.2	172	14.8	13	11.0
地価などの住宅条件	103	7.9	90	7.7	13	11.0
教育環境	50	3.8	36	3.1	12	10.2
福祉（保育、子育て支援など）	83	6.4	71	6.1	11	9.3
福祉（高齢者・障害者サービス）	78	6.0	55	4.7	22	18.6
都市基盤（施設の充実）	69	5.3	35	3.0	34	28.8
安全・安心（保健・医療）	165	12.6	145	12.4	18	15.3
安全・安心（犯罪・災害）	348	26.6	340	29.2	8	6.8
自然や食の豊かさ	440	33.7	425	36.5	11	9.3
その他	81	6.2	66	5.7	15	12.7
不明	39	3.0	21	1.8	2	1.7
合 計	1,306	100.0	1,165	100.0	118	100.0

- 「住み続ける」又は「できれば住み続けたい」と回答した人の理由は、「まちへの愛着・自信・誇り・土地柄」「自然や食の豊かさ」「働く場所（仕事）」が上位3つを占めています。一方、「できれば転出したい」又は「転出する予定である」と答えた人の理由は、「働く場所（仕事）」「都市基盤（施設の充実）」「通勤・通学などの交通の便」が上位となっています。
- 以上の結果から、定住意向には、まちへの愛着や自然・食の豊かさといった肯定的評価に加え、雇用機会、都市機能、交通利便性などに関する評価も関係していることがうかがえます。

住み続ける（住み続けたい）理由、もしくは転出したい（する）理由の「その他」の記述内容

【住み続ける、できれば住み続けたい】

- 家を建てている、持ち家がある（13名）
- 地元（出身地）だから（3名）
- 災害が少ない（7名）
- 他に行く勇気がないから
- 移動する理由がない
- 出ていく理由がない

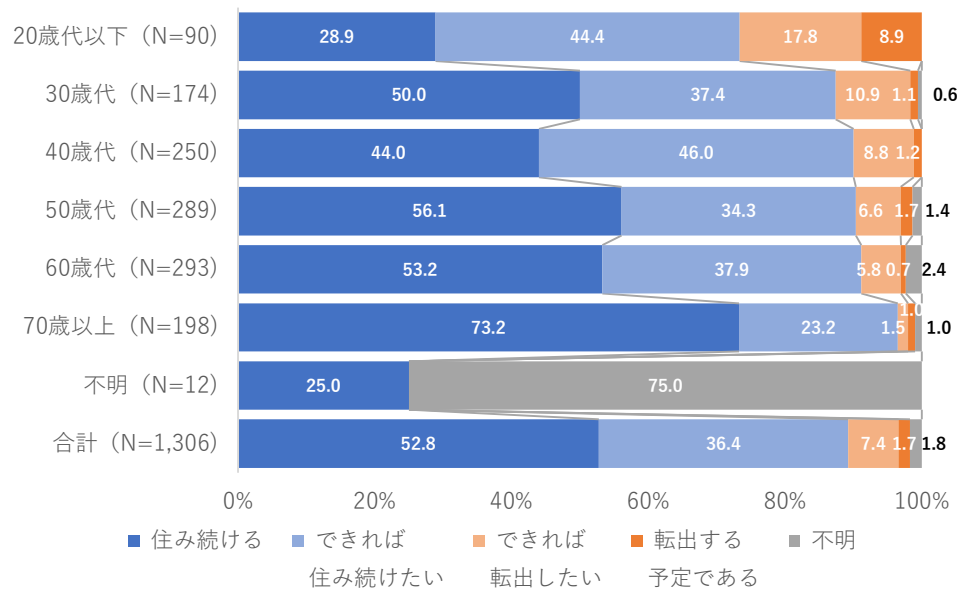
- 今の生活を変えたくない
- 他の地域に行く理由がない
- ずっと下関だから、なんとなくそのまま
- 生まれてから他に住んだ事がない
- 環境を変えるのが面倒。
- 他の県に行っても馴染めないから。
- 引越しが面倒くさい
- 不便はないから
- 現状に満足している
- 他が見つけにくい
- 特に理由はないが、生活の基盤ができているから
- 他に住んだことがないから
- しかたなく
- 妻と一緒に住んでいるから
- 子供や孫がいるから
- 親戚も市内にいるため市外に出ると知らない人ばかりになる。
- 共通の趣味を持つ友人がたくさんいる。
- 相続した不動産がある
- 離婚
- 自身の子ども達が、下関出身だと言える環境を持ち続けたいため。
- 道端のゴミの少なさ、自然災害の少なさ
- これから楽しく便利な市になると期待
- 瀬戸内のアートをベースに街を活性化して欲しい
- 人が多すぎない
- 歴史文化・下関市立美術館
- 給付金制度と年金制度と生活保護制度
- 海が近くにある
- スーパーが近いところ
- 穏やかに暮らせているが、刺激や魅力が欲しい
- 地域環境の変化に不安を感じている。
- 北九州市に住みたい
- 転出するか分からない

【できれば転出したい、転出する予定である】

- 地元（ふる里）に帰る（2名）

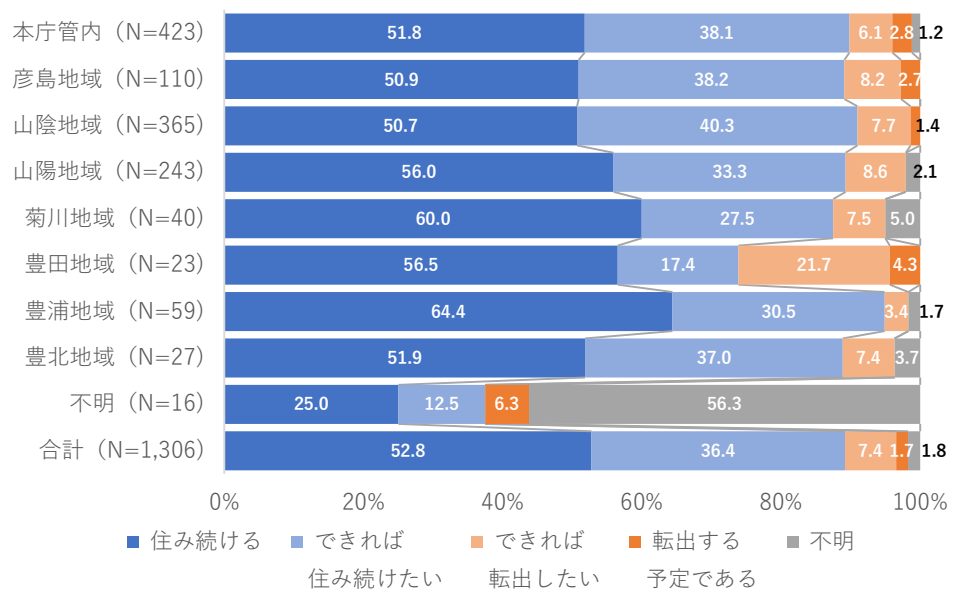
- 実家が他県
- 親の介護
- 進路を決める時に選択肢が多い。頼る人がいないので、地元(熊本)で子育てをしたい。
- 他県への大学進学
- 他に住みたい場所があるから
- 人間関係の困難さ。
- 交通の不便さ
- 今後結婚とかも含めて
- 坂だらけ
- 町のせいではなく、一度は違う場所で暮らしてみたいから
- 市税が高すぎる
- 老後は車なしでも生活しやすいところに引っ越したい。

年齢別・居住継続の意思別



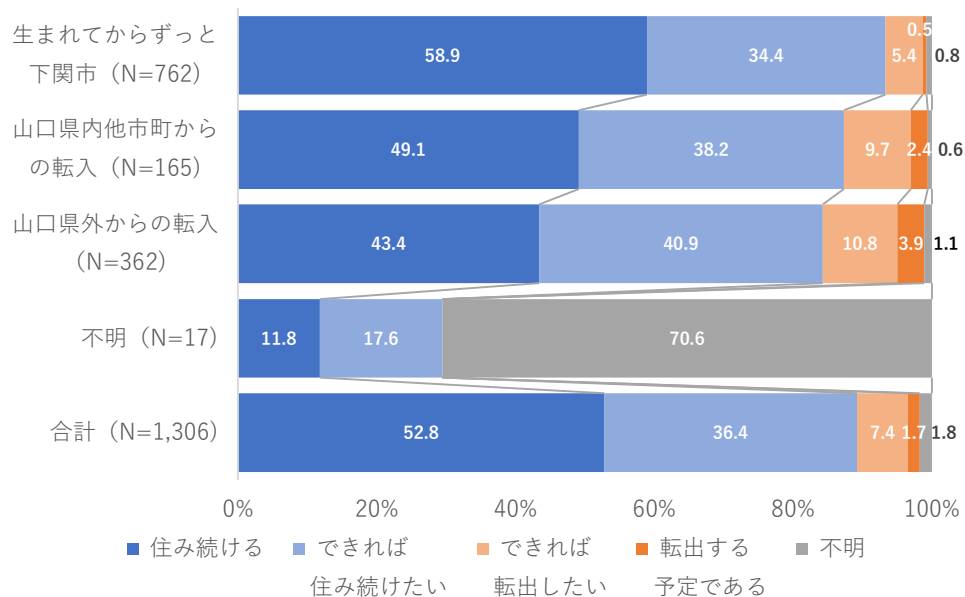
- 「住み続ける」と回答した割合は、「20 歳代以下」では約 3 割であるのに対し、「70 歳以上」では 7 割超となっており、高齢層で高い傾向がみられます。一方、「できれば転出したい」「転出する予定である」と回答した割合は、「20 歳代以下」が 2 割台半ばと相対的に高くなっています。

居住地域別・居住継続の意思別



- 「住み続ける」又は「できれば住み続けたい」と回答した割合は、「豊浦地域」では 9 割台半ば、「山陰地域」では 9 割超となっており、その他の地域でも大半が 8 割台後半となっています。ただし、「豊田地域」ではこの割合が 6 割台にとどまり、「できれば転出したい」「転出する予定である」と回答した割合が 2 割台半ばとなっています。

居住経緯別・居住継続の意思別

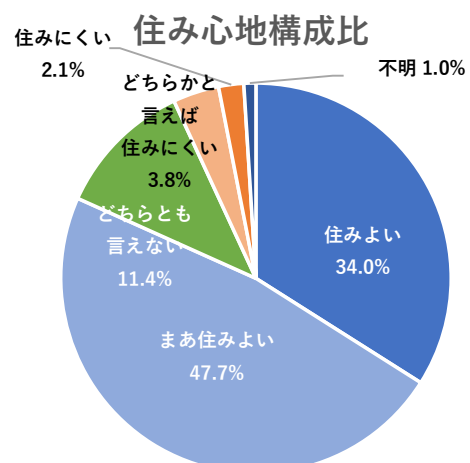


- 「山口県外から下関市に引っ越してきた」人では、「できれば転出したい」「転出する予定である」と回答した割合が合計で1割台半ばと相対的に高くなっています。
- 「生まれてからずっと下関市に住んでいる」人では、9割超が「住み続ける」もしくは「できれば住み続けたい」と回答しており、定住意識が高い傾向がみられます。
- 若年層や豊田地域在住者、県外からの転入者は、他の層と比べて転出意向が相対的に高い傾向がみられます。また、住み続ける理由・転出したい理由の回答からは、雇用機会や交通・生活利便性に関する評価が、定住意向に関係している可能性が示唆されます。

(7) 住み心地

下関市の住み心地

	n	%
住みよい	444	34.0
まあ住みよい	623	47.7
どちらとも言えない	149	11.4
どちらかと言えば住みにくい	50	3.8
住みにくい	27	2.1
不明	13	1.0
合 計	1,306	100.0



- 「住みよい」又は「まあ住みよい」との回答が多く、合計で8割に達しています。
- 一方、「どちらかと言えば住みにくい」又は「住みにくい」との回答は少なく、合計でも5%台となっています。

4. 調査結果（全世代）

（１）住み心地のスコア化

「住みよい」との回答を＋10、「まあ住みよい」との回答を＋5、「どちらとも言えない」との回答を0、「どちらかと言えば住みにくい」との回答を－5、「住みにくい」との回答を－10として集計（「分からない」「不明」は集計から除外）し、その平均値でスコア化すると、下関市の住み心地スコアは＋5.44 となっています（前回調査比 1.14 ポイント上昇）。

肯定回答（「住みやすい」もしくは「まあ住みやすい」）の割合（％）	81.7
スコア値（「住みやすい」＋10、「まあ住みやすい」＋5、「どちらとも言えない」0、「どちらかと言えば住みにくい」－5、「住みにくい」－10とした平均値。「分からない」「不明」は除外して集計）	5.44

回答者の属性ごとの住み心地スコア

		スコア	前回比			スコア	前回比
全 体		5.44	1.14	職 業	農林水産業	4.71	▲1.01
性 別	男性	5.04	0.92		自営業	5.00	0.41
	女性	5.79	1.23		会社員	5.41	1.29
年 齢	20歳代以下	5.67	0.84		公務員	5.87	1.82
	30歳代	5.29	1.77		団体職員	5.74	▲0.51
	40歳代	5.50	1.16		パート・アルバイト・派遣社員	5.10	1.02
	50歳代	5.33	1.43		専業主婦・専業主夫	6.07	1.25
	60歳代	5.22	0.64		学生	5.75	0.75
	70歳以上	5.96	1.29		無職	5.21	0.83
居 住 地 域	本庁管内	5.64	1.29	住 み 心 地	住みやすい、まあ住みやすい	7.08	0.60
	彦島地域	5.05	0.12		どちらとも言えない	0.00	0.00
	山陰地域	5.75	1.11		住みにくい、どちらかと言えば住みにくい	▲6.75	▲0.13
	山陽地域	5.75	1.62		感じている	7.69	
	菊川地域	5.00	2.12	下 関 市 へ の 愛 着	やや感じている	4.66	
	豊田地域	2.39	▲1.61		どちらとも言えない	2.72	
	豊浦地域	4.49	0.43		あまり感じていない	1.02	
	豊北地域	2.41	▲0.21		感じていない	▲3.72	
居 住 経 緯	生まれてからずっと	5.76	1.19	継 続 居 住 意 向	住み続ける	7.12	1.31
	県内他市町村から	5.24	0.69		できれば住み続けたい	4.34	0.81
	県外から	4.90	1.35		できれば転出したい	0.31	0.79
居 住 年 数	5年未満	4.69	0.81		転出したい	1.14	▲1.01
	5～9年前	3.68	1.18				
	10～19年前	4.65	1.10				
	20年以上	5.73	1.18				

属性別の結果をみると、住み心地スコアは総じてプラスであり、下関市の生活環境に対する評価はおおむね良好です。一方で、年齢や居住地域、居住経緯によって評価に差がみられます。

(2) 各設問の集計結果

問1～33の各設問の集計結果は、以下のとおりです。

今回の調査では前回調査と同様、「感じる」、「思う」といった肯定的な回答を+10、「感じない」、「思わない」といった否定的な回答を-10、「どちらとも言えない」との回答を0として集計（「不明」は集計から除外）し、その平均値でスコア化しました。

その結果、スコアが最も高いのは問1（観光振興：スコア6.83）で、最も低いのは問15（下関駅にぎわい：スコア▲7.22）となりました。

	グラフ標記 略称		感じる	感じない	どちらとも 言えない	不明	合計	肯定回答(%)	スコア値	前回比
問1 観光客の来訪は、地域の活性化に とってプラスになっていると感じ ますか	観光地 認知度	n	992	105	201	8	1,306			
		%	76.0	8.0	15.4	0.6	100.0	76.0	6.83	5.51
問2 文化・芸術活動に関する、行事へ の参加、鑑賞、創作活動等の機会 があると感じますか	文化活動 機会	n	410	455	432	9	1,306			
		%	31.4	34.8	33.1	0.7	100.0	31.4	▲0.35	3.48
問3 ウォーターフロント開発やクルー ズ客船受入など、みなとのにぎわ いが創出されていると感じますか	みなと にぎわい	n	595	338	362	11	1,306			
		%	45.6	25.9	27.7	0.8	100.0	45.6	1.98	1.88
問4 外国や外国人に対する友好的な雰 囲気が広がり、外国人が住みやす い環境づくりが進められていると 感じますか	外国人 環境	n	223	441	630	12	1,306			
		%	17.1	33.8	48.2	0.9	100.0	17.1	▲1.68	1.15
問5 新たな農業・漁業の担い手の確 保・育成や農林水産物のブランド 化などの取組を推進しています が、農林水産業が盛んだと感じま すか	農林水産	n	306	565	425	10	1,306			
		%	23.4	43.3	32.5	0.8	100.0	23.4	▲2.00	1.90
問6 保護者が自信と責任をもって子ど もを育て、地域の誰もが教育に参 加でき、学校と家庭と地域住民が 互いにかかわりあう社会になっ ていると感じますか	地域教育	n	287	417	579	23	1,306			
		%	22.0	31.9	44.3	1.8	100.0	22.0	▲1.01	1.45
問7 図書館や公民館、博物館などが整 備され、いつでも、どこでも、だ れでも学習する機会が充実してい ると感じますか	生涯学習	n	689	234	368	15	1,306			
		%	52.8	17.9	28.2	1.1	100.0	52.8	3.52	1.16
問8 下関市立大学は、地元の公立大学 として、市民公開講座の開催や学 生の地元企業への就職、産学官連 携など通じて、地域に貢献してい ると思いますか	下関市大	n	324	336	624	22	1,306			
		%	24.8	25.7	47.8	1.7	100.0	24.8	▲0.09	1.46
問9 人権が尊重されていると感じます か	人権尊重	n	468	186	634	18	1,306			
		%	35.8	14.2	48.5	1.4	100.0	35.8	2.19	0.72

問10	「男は仕事、女は家庭」、「男性は主要な業務、女性は補助的業務」など性別を理由として、役割を固定的に分けることにとらわれない考え方をもっていますか	グラフ標記略称		もっている	もっていない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		男女平等観念	n	860	175	257	14	1,306	65.8	5.30	0.73
			%	65.8	13.4	19.7	1.1	100.0			
問11	魅力ある下関らしいまちなみや景観などが形成されていると感じますか	グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		景観	n	500	335	456	15	1,306	38.3	1.28	1.91
			%	38.3	25.7	34.9	1.1	100.0			
問12	下関駅の周辺ににぎわいがあると感じますか	グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		下関駅にぎわい	n	87	1,021	185	13	1,306	6.7	▲ 7.22	▲ 0.08
			%	6.7	78.2	14.2	1.0	100.0			
問13	公共交通（バス・ＪＲ・タクシー）が利用しやすいと感じますか	グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		公共交通	n	243	701	345	17	1,306	18.6	▲ 3.55	0.59
			%	18.6	53.7	26.4	1.3	100.0			
問14	安全で便利な道路機能が構築されていると感じますか	グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		道路機能	n	479	384	427	16	1,306	36.7	0.74	0.32
			%	36.7	29.4	32.7	1.2	100.0			
問15	上下水道は、市民の皆さんが安全で、いつでも安心な生活を営むことに、貢献していると思いますか	グラフ標記略称		思う	思わない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		上下水道	n	914	94	281	17	1,306	70.0	6.36	0.68
			%	70.0	7.2	21.5	1.3	100.0			
問16	生活に必要な物（食品、生活用品など）や場所（飲食店、理・美容院、公衆浴場など）は、衛生的で安心して利用できると感じますか	グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		生活衛生基盤	n	910	73	303	20	1,306	69.7	6.51	0.38
			%	69.7	5.6	23.2	1.5	100.0			
問17	高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して生活を送っていると思いますか	グラフ標記略称		思う	思わない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		高齢者生活	n	364	312	609	21	1,306	27.9	0.40	0.76
			%	27.9	23.9	46.6	1.6	100.0			
問18	障害のある人、その家族にとって、日常や将来の生活に不安なく暮らしやすいと感じますか	グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		障害者生活	n	175	372	726	33	1,306	13.4	▲ 1.55	0.86
			%	13.4	28.5	55.6	2.5	100.0			
問19	健康づくりに関するサービスや医療環境が充実し、健康的な生活がしやすいと感じますか	グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		健康的な生活	n	444	296	548	18	1,306	34.0	1.15	1.22
			%	34.0	22.7	42.0	1.4	100.0			
問20	日常の暮らしの中で、相談できる人や場所があると感じますか	グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
		生活相談	n	456	357	481	12	1,306	34.9	0.77	0.64
			%	34.9	27.3	36.8	0.9	100.0			

問21	市報やホームページなど市政情報の発信や市民の声の聴取などの環境が充実していると思いますか	グラフ標記略称		思う	思わない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答 (%)	スコア値	前回比
		行政情報	n	470	301	520	15	1,306	36.0	1.31	1.06
			%	36.0	23.0	39.8	1.1	100.0			
		グラフ標記略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答 (%)	スコア値	前回比
問22	都市・生活基盤において、交通・道路・河川・公園・上下水道などのインフラ環境は、利便性や防災機能が高く（ハード面）、生活全般に満足していると感じますか	インフラ環境	n	398	355	541	12	1,306	30.5	0.33	0.99
			%	30.5	27.2	41.4	0.9	100.0			
問23	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じますか	サービス提供	n	375	350	565	16	1,306	28.7	0.19	0.88
			%	28.7	26.8	43.3	1.2	100.0			
問24	市民一人ひとりの人権や多様性が尊重されていて、誰もが個性と能力を発揮できる、共生・協働社会に向けた取り組みがなされていると感じますか	共生・協働	n	271	364	649	22	1,306	20.8	▲ 0.72	1.21
			%	20.8	27.9	49.7	1.7	100.0			
問25	市政の動向の把握や市政情報を適切に入手し、様々な行政サービスを活用できていると感じますか	行政サービス	n	332	456	502	16	1,306	25.4	▲ 0.96	1.46
			%	25.4	34.9	38.4	1.2	100.0			
問26	自治会等の地域の行事が多く、負担に感じますか	地域行事負担	n	255	602	433	16	1,306	19.5	▲ 2.69	▲ 1.33
			%	19.5	46.1	33.2	1.2	100.0			
問27	生涯学習活動や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じますか	社会参画	n	318	399	570	19	1,306	24.3	▲ 0.63	1.03
			%	24.3	30.6	43.6	1.5	100.0			
問28	住んでいる地域に地域活動の場（町民館等）が確保されていると思いますか	地域活動の場	n	739	252	296	19	1,306	56.6	3.78	0.63
			%	56.6	19.3	22.7	1.5	100.0			
問29	安全安心で住みやすく、まちなぎわいがあると感じますか	まちなぎわい	n	279	502	507	18	1,306	21.4	▲ 1.73	1.60
			%	21.4	38.4	38.8	1.4	100.0			
問30	人のつながりを大切に、地域の力が活きる「住民自治によるまちづくり」（まちづくり協議会）の取り組みが進んできたと感じますか	住民自治	n	316	437	533	20	1,306	24.2	▲ 0.94	1.96
			%	24.2	33.5	40.8	1.5	100.0			
問31	挑戦でき活躍しやすい環境が整っていると感じますか	挑戦・活躍	n	168	548	571	19	1,306	12.9	▲ 2.95	1.68
			%	12.9	42.0	43.7	1.5	100.0			

問32 市内でやりたい仕事を見つけやすいと感じますか	グラフ標記 略称		感じる	感じない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
	やりたい 仕事	n ％	133 10.2	590 45.2	568 43.5	15 1.1	1,306 100.0	10.2	▲ 3.54	1.81
問33 現在就いている仕事を続けていき たいと思いますか (現在就業している方のみ回答)	グラフ標記 略称		思う	思わない	どちらとも言えない	不明	合計	肯定回答（％）	スコア値	前回比
	仕事 継続意向	n ％	605 63.4	96 10.1	208 21.8	46 4.8	955 100.0	63.4	5.60	1.56

(注) 問 1、問 12、問 13 については、設問文が前回調査と異なるため、「前回比」は参考値として括弧書きで示した。なお、前回調査の設問文は以下の通り。

問 1：観光地としての認知度は高まっていると感じますか

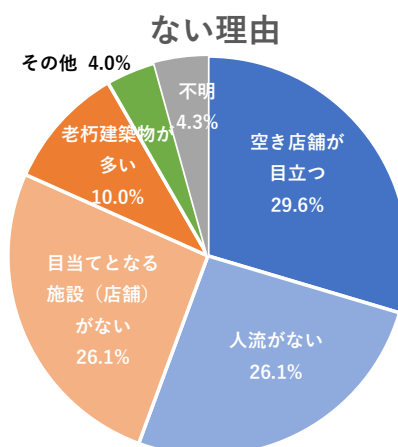
問 12：下関駅の周辺・商業施設ににぎわいがあると感じますか

問 13：公共交通（バス・ＪＲ）が利用しやすいと感じますか

以上の結果を踏まえると、観光振興など市民が一定の成果を実感している施策がある一方、下関駅周辺のにぎわい、公共交通、働く場の確保など、日常生活や将来の定住判断に関わる分野では評価が相対的に低く、市民の課題認識が表れていることがうかがえます。

このうち、問 12（下関駅の周辺ににぎわいがあると感じますか）で「感じない」と回答した人に、その理由を尋ねた結果は以下のとおりとなりました。

下関駅の周辺ににぎわいが



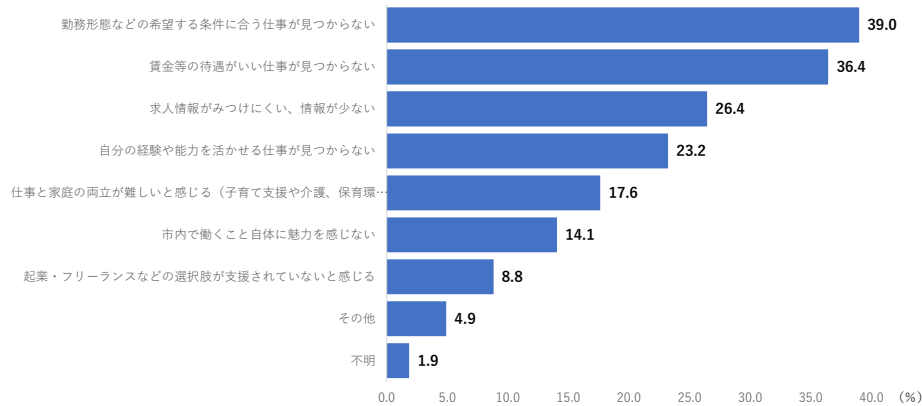
下関駅の周辺ににぎわいがいない理由

			空き店舗が 目立つ	人流がない	目当てとなる 施設（店舗） がない	老朽建築物が 多い	その他	不明
性別	男性 (N=374)	n	94	116	90	39	19	16
		%	25.1	31.0	24.1	10.4	5.1	4.3
	女性 (N=605)	n	200	134	168	59	19	25
		%	33.1	22.1	27.8	9.8	3.1	4.1
年齢	20歳代以下 (N=64)	n	20	14	15	12	2	1
		%	31.3	21.9	23.4	18.8	3.1	1.6
	30歳代 (N=125)	n	33	24	37	19	10	2
		%	26.4	19.2	29.6	15.2	8.0	1.6
	40歳代 (N=205)	n	63	41	62	23	10	6
		%	30.7	20.0	30.2	11.2	4.9	2.9
	50歳代 (N=226)	n	67	62	57	21	8	11
		%	29.6	27.4	25.2	9.3	3.5	4.9
	60歳代 (N=236)	n	74	68	56	18	9	11
		%	31.4	28.8	23.7	7.6	3.8	4.7
	70歳以上 (N=156)	n	43	52	38	9	2	12
		%	27.6	33.3	24.4	5.8	1.3	7.7
合 計 (N=1,021)		n	302	266	266	102	41	44
		%	29.6	26.1	26.1	10.0	4.0	4.3

- 最も多いのが「空き店舗が目立つ」でほぼ3割、続いて「人流がない」「目当てとなる施設（店舗）がない」が同率で2割台半ばとなっています。
- 性別にみると、「男性」は「人流がない」が3割超で最も多く、「女性」は「空き店舗が目立つ」が3割超で最も多くなっています。
- 年齢別にみると、「人流がない」は「70歳以上」の3割超が回答しています。また、「老朽建築物が多い」は、「20歳代以下」の回答割合が約2割と年齢別では最高です。
- 以上を踏まえると、下関駅周辺のにぎわいに関する評価には、空き店舗の状況、人流、目的地となる施設の有無などが関係していることがうかがえます。

また、問 32（市内でやりたい仕事を見つけやすいと感じますか）で「感じない」と回答した人に、その理由を尋ねた結果は以下のとおりとなりました。

市内でやりたい仕事が見つからない理由



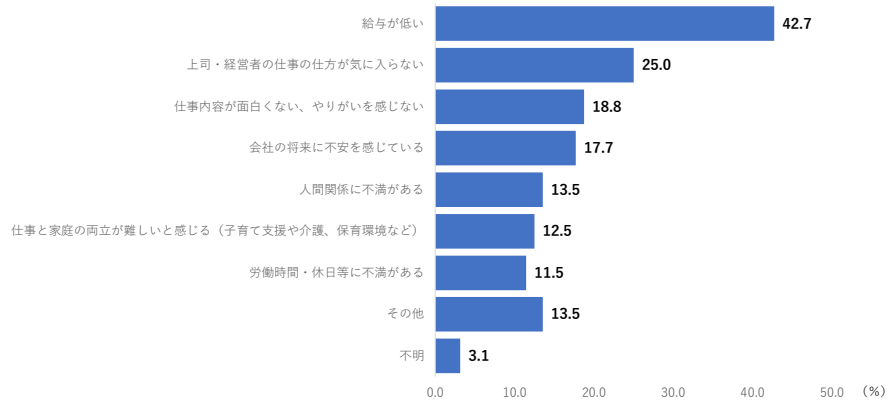
市内でやりたい仕事が見つからない理由

			勤務形態などの希望する条件に合う仕事が見つからない	賃金等の待遇がいい仕事が見つからない	求人情報がみつけない、情報が少ない	自分の経験や能力を活かせる仕事が見つからない	仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）	市内で働くこと自体に魅力を感じない	起業・フリーランスなどの選択肢が支援されていないと感じる	その他	不明
性別	男性 (N=251)	n	92	99	60	80	28	40	25	12	4
		%	36.7	39.4	23.9	31.9	11.2	15.9	10.0	4.8	1.6
	女性 (N=314)	n	134	107	90	54	69	37	26	15	6
		%	42.7	34.1	28.7	17.2	22.0	11.8	8.3	4.8	1.9
年齢	20歳代以下 (N=37)	n	9	19	10	8	4	9	4	2	0
		%	24.3	51.4	27.0	21.6	10.8	24.3	10.8	5.4	0.0
	30歳代 (N=79)	n	38	32	15	7	25	13	5	5	0
		%	48.1	40.5	19.0	8.9	31.6	16.5	6.3	6.3	0.0
	40歳代 (N=110)	n	42	48	15	18	26	15	11	8	1
		%	38.2	43.6	13.6	16.4	23.6	13.6	10.0	7.3	0.9
	50歳代 (N=140)	n	53	62	43	24	26	16	9	6	2
		%	37.9	44.3	30.7	17.1	18.6	11.4	6.4	4.3	1.4
	60歳代 (N=130)	n	56	35	38	50	12	21	15	3	2
		%	43.1	26.9	29.2	38.5	9.2	16.2	11.5	2.3	1.5
	70歳以上 (N=88)	n	31	19	33	29	10	9	7	5	5
		%	35.2	21.6	37.5	33.0	11.4	10.2	8.0	5.7	5.7
合 計 (N=590)	n	230	215	156	137	104	83	52	29	11	
	%	39.0	36.4	26.4	23.2	17.6	14.1	8.8	4.9	1.9	

- 最も多いのが「勤務形態などの希望する条件に合う仕事が見つからない」で約4割、続いて「賃金等の待遇のいい仕事が見つからない」が3割台半ばとなっています。
- 性別にみると、「男性」は「賃金等の待遇のいい仕事が見つからない」が約4割、「女性」は「勤務形態などの希望する条件に合う仕事が見つからない」が4割超で最も多くなっています。
- 年齢別では、「賃金等の待遇のいい仕事が見つからない」は「20歳代以下」の5割超が回答し、「仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）」は「30歳代」の回答割合が最も高くなっています。
- 以上を踏まえると、市内での仕事の見つけやすさに関する評価には、希望する勤務条件、賃金等の待遇、仕事と家庭の両立のしやすさなどが関係していることがうかがえます。

さらに、問 33（現在、就いている仕事を続けていきたいと思いますか）で「思わない」と回答した人に、その理由を尋ねた結果は以下のとおりとなりました。

現在、就いている仕事を続けたくない理由（就業者）



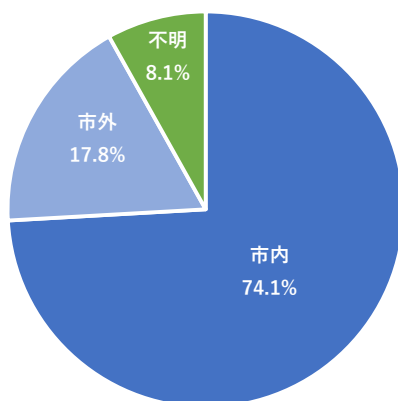
現在、就いている仕事を続けたくない理由（就業者）

			給与が低い	上司・経営者の仕事の仕方が気に入らない	仕事内容が面白くない、やりがいを感じない	会社の将来に不安を感じている	人間関係に不満がある	仕事と家庭の両立が難しいと感じる （子育て支援や介護、保育環境など）	労働時間・休日等にも不満がある	その他	不明
性別	男性 (N=43)	n	14	8	13	6	7	4	3	8	2
		%	32.6	18.6	30.2	14.0	16.3	9.3	7.0	18.6	4.7
	女性 (N=51)	n	26	15	4	10	6	8	8	5	1
		%	51.0	29.4	7.8	19.6	11.8	15.7	15.7	9.8	2.0
年齢	20歳代以下 (N=8)	n	3	0	3	3	0	1	1	1	0
		%	37.5	0.0	37.5	37.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0
	30歳代 (N=16)	n	7	4	5	4	2	5	1	1	1
		%	43.8	25.0	31.3	25.0	12.5	31.3	6.3	6.3	6.3
	40歳代 (N=25)	n	12	10	3	5	4	2	5	1	1
		%	48.0	40.0	12.0	20.0	16.0	8.0	20.0	4.0	4.0
	50歳代 (N=16)	n	6	2	3	4	2	3	2	2	0
		%	37.5	12.5	18.8	25.0	12.5	18.8	12.5	12.5	0.0
	60歳代 (N=22)	n	9	5	4	0	2	0	1	8	1
		%	40.9	22.7	18.2	0.0	9.1	0.0	4.5	36.4	4.5
	70歳以上 (N=8)	n	4	3	0	1	3	0	1	0	0
		%	50.0	37.5	0.0	12.5	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0
合 計 (N=96)	n	41	24	18	17	13	12	11	13	3	
	%	42.7	25.0	18.8	17.7	13.5	12.5	11.5	13.5	3.1	

- 最も多いのが「給与が低い」で4割超の人が挙げています。続いて、「上司、経営者の仕事の仕方が気に入らない」「仕事内容が面白くない、やりがいを感じない」などが続いています。
- 性別にみると、「男性」は「仕事内容が面白くない、やりがいを感じない」との回答割合が3割で、「女性」を20ポイント程度上回っています。
- 年齢別にみると、「40歳代」の約5割が「給与が低い」としています。また、「30歳代」では3割超が「仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）」としています。
- 上記を踏まえると、就業継続に関する評価には、賃金水準に加え、仕事のやりがいや働き方の柔軟性などが関係していることがうかがえます。

就職又は転職するなら市内か市外のどちらが良いか尋ねた結果（問 34）は以下のとおりとなりました。

就職又は転職先構成比

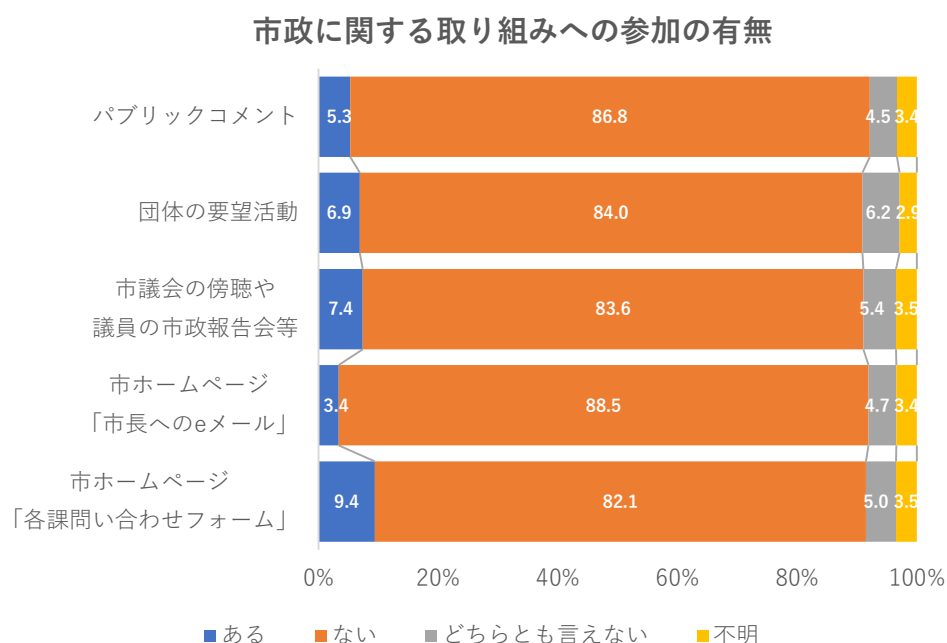
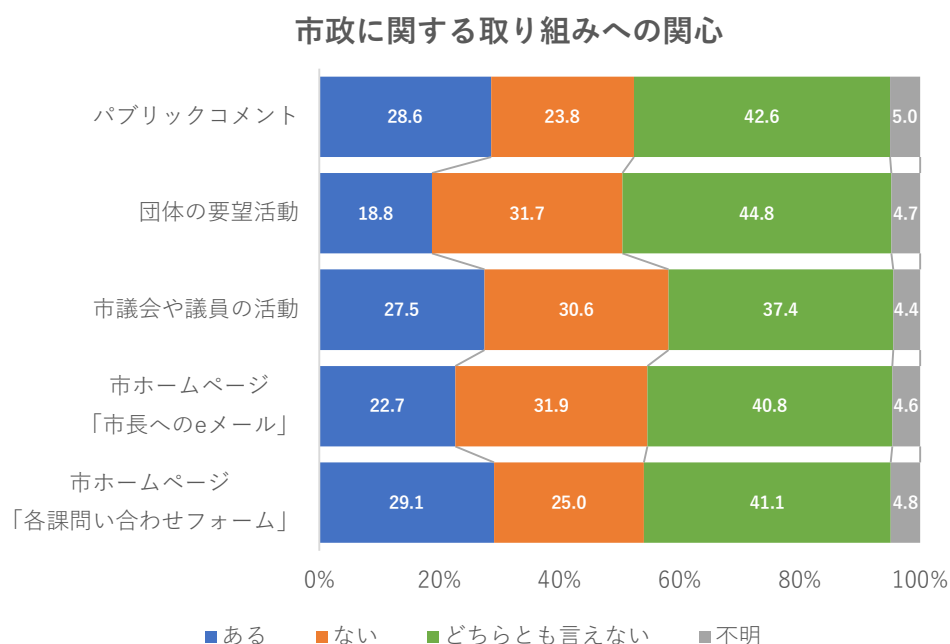


就職又は転職するなら市内か市外どちらが良いか

			市内	市外	不明
性別	男性 (N=481)	n	348	102	31
		%	72.3	21.2	6.4
	女性 (N=778)	n	589	119	70
		%	75.7	15.3	9.0
年齢	20歳代以下 (N=90)	n	52	38	0
		%	57.8	42.2	0.0
	30歳代 (N=174)	n	136	36	2
		%	78.2	20.7	1.1
	40歳代 (N=250)	n	197	51	2
		%	78.8	20.4	0.8
	50歳代 (N=289)	n	230	52	7
		%	79.6	18.0	2.4
	60歳代 (N=293)	n	224	43	26
		%	76.5	14.7	8.9
	70歳以上 (N=198)	n	124	10	64
		%	62.6	5.1	32.3
合 計 (N=1,306)		n	968	232	106
		%	74.1	17.8	8.1

- 就職・転職先としては「市内」を希望する人が7割超と多く、「市外」を希望する人は2割未満にとどまっています。
- 性別にみると、「市内」を希望する割合は、「女性」が「男性」を3ポイント程度上回っていますが、差は小さいといえます。
- 年齢別に「市内」を希望する割合をみると、「50歳代」がほぼ8割と最も高く、「30歳代」「40歳代」「60歳代」でも7割台となっています。一方、「20歳台以下」は6割を下回っており、就職場所として下関市外も視野に入れている人が一定数いることがうかがえます。

市政に関する取組への関心や参加状況について尋ねた結果は、以下のとおりです。



- 関心が最も高いのは、市ホームページ「各課問い合わせフォーム」でほぼ3割に達し、「パブリックコメント」「市議会や議員の活動」も約3割が関心を示しています。
- 参加が最も多いのも市ホームページ「各課問い合わせフォーム」でしたが、回答割合は1割未満にとどまっています。

(3) 調査結果の属性別スコア

問1～33の各設問のスコアを属性別に集計した結果が以下のとおりです。

令和8年6月 下関市市民実感調査 スコア一覧

		問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11
全体		6.83	▲ 0.35	1.98	▲ 1.68	▲ 2.00	▲ 1.01	3.52	▲ 0.09	2.19	5.30	1.28
前回比		(5.51)	3.48	1.88	1.15	1.90	1.45	1.16	1.46	0.72	0.73	1.91
性別	男性	6.11	▲ 0.75	1.41	▲ 2.52	▲ 2.44	▲ 1.76	3.03	▲ 0.89	1.33	4.51	0.57
	女性	7.49	0.09	2.60	▲ 1.03	▲ 1.57	▲ 0.39	4.01	0.63	2.91	5.83	1.99
年齢	20歳代以下	7.89	0.89	2.89	0.11	1.00	2.25	5.56	1.00	5.67	6.78	4.22
	30歳代	7.24	0.98	2.64	▲ 0.86	▲ 1.67	▲ 0.57	4.54	0.86	3.06	5.03	2.08
	40歳代	7.04	0.00	1.85	▲ 0.96	▲ 1.52	▲ 0.40	3.94	▲ 0.20	2.52	5.68	2.04
	50歳代	7.25	▲ 1.05	2.30	▲ 1.96	▲ 1.43	▲ 1.17	3.57	▲ 0.28	2.32	4.51	2.10
	60歳代	6.53	▲ 0.62	2.40	▲ 1.97	▲ 2.79	▲ 2.07	2.67	▲ 0.31	1.19	5.79	0.21
	70歳以上	5.52	▲ 0.96	0.46	▲ 3.45	▲ 3.90	▲ 1.88	2.35	▲ 0.58	0.72	4.77	▲ 1.14
居住地域	本庁管内	7.18	0.10	2.78	▲ 1.42	▲ 1.39	▲ 0.80	4.24	0.36	2.29	5.35	1.83
	彦島地域	6.73	▲ 1.36	0.92	▲ 1.91	▲ 2.59	▲ 1.76	2.84	▲ 0.19	1.50	5.14	▲ 0.74
	山陰地域	7.34	▲ 0.05	2.22	▲ 1.53	▲ 1.37	▲ 1.04	4.90	0.03	2.17	4.84	1.75
	山陽地域	6.10	▲ 0.74	1.78	▲ 2.07	▲ 2.11	▲ 0.38	1.63	▲ 0.71	2.95	5.90	1.70
	菊川地域	8.50	2.50	2.75	▲ 1.75	▲ 2.75	1.25	2.75	1.75	2.05	5.50	0.75
	豊田地域	4.35	▲ 3.91	▲ 1.74	▲ 4.78	▲ 6.09	▲ 4.35	▲ 0.87	▲ 4.35	▲ 0.87	5.22	▲ 0.43
	豊浦地域	6.21	▲ 0.85	1.03	▲ 0.88	▲ 4.41	▲ 2.20	3.22	▲ 0.52	1.69	5.76	▲ 0.51
	豊北地域	1.54	▲ 2.00	▲ 1.92	▲ 2.69	▲ 6.15	▲ 3.08	▲ 1.92	▲ 1.60	0.77	5.38	▲ 2.31
職業	農林水産業	5.88	▲ 2.94	▲ 0.59	▲ 2.35	▲ 7.65	▲ 1.76	1.18	0.00	▲ 1.25	1.76	1.18
	自営業	4.38	▲ 2.63	0.38	▲ 1.50	▲ 2.25	▲ 1.39	1.63	▲ 1.03	1.65	4.00	0.13
	会社員	6.95	▲ 1.14	1.56	▲ 1.38	▲ 2.14	▲ 1.36	3.44	▲ 0.56	2.21	5.49	1.38
	公務員	8.46	2.69	6.35	▲ 0.87	0.77	1.15	6.15	2.69	3.56	6.44	5.19
	団体職員	7.78	▲ 2.22	1.48	▲ 2.59	▲ 2.59	▲ 0.37	4.44	▲ 1.48	3.70	5.77	1.92
	パート・アルバイト・派遣社員	7.15	0.00	2.08	▲ 1.60	▲ 1.92	▲ 0.79	3.46	▲ 0.24	2.37	5.35	1.05
	専業主婦・専業主夫	7.14	1.29	3.47	▲ 1.92	▲ 0.95	▲ 0.14	4.79	1.24	2.95	5.21	0.96
	学生	8.50	1.50	1.00	▲ 3.00	▲ 0.50	2.11	6.00	0.50	6.50	6.50	5.00
	無職	5.58	▲ 0.55	0.37	▲ 2.80	▲ 3.93	▲ 2.69	1.71	▲ 0.81	0.43	4.91	▲ 0.73
居住経緯	生まれてからずっと	6.55	▲ 0.73	1.79	▲ 1.70	▲ 2.26	▲ 1.15	3.23	▲ 0.33	1.82	5.28	1.02
	県内他市町村から	7.26	0.24	2.93	▲ 1.71	▲ 0.85	▲ 0.37	3.60	0.80	2.99	5.99	2.39
	県外から	7.29	0.30	2.08	▲ 1.58	▲ 1.97	▲ 1.01	4.00	0.06	2.70	5.06	1.48
居住年数	5年未満	8.88	0.63	2.38	▲ 0.51	1.25	0.89	3.88	1.77	3.75	4.18	3.04
	5～9年前	8.24	▲ 0.29	1.47	▲ 1.47	▲ 2.35	▲ 0.60	1.62	▲ 0.44	2.79	5.74	0.88
	10～19年前	7.21	1.01	2.09	▲ 0.85	▲ 0.93	▲ 0.08	5.81	1.09	3.44	5.47	1.95
	20年以上前	6.56	▲ 0.55	2.05	▲ 1.89	▲ 2.34	▲ 1.31	3.32	▲ 0.33	1.93	5.35	1.15
住み心地	住みやすい、まあ住みやすい	7.45	0.49	2.99	▲ 1.28	▲ 1.43	▲ 0.38	4.42	0.50	2.94	5.49	2.39
	どちらとも言えない	4.49	▲ 3.66	▲ 1.53	▲ 3.40	▲ 3.79	▲ 3.85	0.34	▲ 1.67	▲ 0.41	4.76	▲ 2.41
	住みにくい、どちらかと言えば住みにくい	2.82	▲ 4.29	▲ 4.12	▲ 4.42	▲ 6.56	▲ 4.23	▲ 1.91	▲ 4.06	▲ 0.86	4.29	▲ 5.17
下関市への愛着	感じている、やや感じている	7.49	0.24	3.00	▲ 1.30	▲ 1.57	▲ 0.39	4.33	0.52	2.87	5.55	2.26
	どちらとも言えない	4.49	▲ 2.53	▲ 0.70	▲ 2.50	▲ 3.04	▲ 3.03	0.89	▲ 1.40	▲ 0.13	3.80	▲ 0.76
	感じていない、あまり感じていない	3.37	▲ 2.69	▲ 3.61	▲ 4.38	▲ 4.97	▲ 4.31	▲ 0.93	▲ 3.68	▲ 0.64	5.30	▲ 4.67
継続居住の意思	住み続ける	7.32	0.36	2.98	▲ 1.23	▲ 1.24	0.15	4.37	0.78	2.86	5.66	2.64
	できれば住み続けたい	6.72	▲ 0.89	1.46	▲ 1.90	▲ 2.92	▲ 2.21	2.94	▲ 0.79	1.75	4.96	0.34
	できれば転出したい	3.89	▲ 2.11	▲ 1.68	▲ 3.68	▲ 3.05	▲ 2.63	0.00	▲ 2.53	▲ 0.21	4.58	▲ 2.60
	転出する予定である	7.73	0.00	1.36	▲ 1.82	▲ 0.45	▲ 3.18	5.00	0.00	2.38	6.19	1.90

(注) 問1については、設問文が前回調査と異なるため、「前回比」は参考値。

令和8年6月 下関市市民実感調査 スコア一覧

		問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	問19	問20	問21	問22
全体		▲ 7.22	▲ 3.55	0.74	6.36	6.51	0.40	▲ 1.55	1.15	0.77	1.31	0.33
前回比		(▲ 0.08)	(0.59)	0.32	0.68	0.38	0.76	0.86	1.22	0.64	1.06	0.99
性別	男性	▲ 7.07	▲ 3.40	0.25	6.46	6.31	0.04	▲ 2.06	1.42	▲ 0.49	0.55	0.53
	女性	▲ 7.21	▲ 3.51	1.06	6.39	6.79	0.71	▲ 1.17	1.15	1.63	1.98	0.36
年齢	20歳代以下	▲ 5.33	▲ 2.56	1.89	6.89	7.67	3.93	1.56	3.44	4.67	2.67	2.78
	30歳代	▲ 5.80	▲ 2.83	1.95	6.32	6.78	2.60	0.06	2.53	3.10	2.07	0.98
	40歳代	▲ 7.64	▲ 4.26	1.92	6.24	7.32	1.40	▲ 1.49	0.92	1.20	1.45	1.20
	50歳代	▲ 7.29	▲ 4.77	0.28	6.71	6.63	▲ 0.24	▲ 1.99	1.33	0.35	1.78	0.21
	60歳代	▲ 8.06	▲ 3.29	0.10	6.10	5.77	▲ 0.98	▲ 2.30	▲ 0.28	▲ 0.52	0.59	▲ 0.42
	70歳以上	▲ 7.41	▲ 2.24	▲ 0.73	6.15	5.57	▲ 1.30	▲ 2.62	1.09	▲ 1.03	0.42	▲ 0.97
居住地域	本庁管内	▲ 7.15	▲ 2.55	0.79	6.12	5.94	0.34	▲ 1.53	1.23	0.45	1.72	0.86
	彦島地域	▲ 7.71	▲ 2.39	0.37	6.97	6.76	▲ 0.09	▲ 2.15	▲ 0.09	0.28	0.09	▲ 0.92
	山陰地域	▲ 7.56	▲ 4.41	0.80	6.71	7.34	1.07	▲ 0.72	2.42	1.43	1.96	1.10
	山陽地域	▲ 6.96	▲ 3.54	0.75	6.32	6.68	0.71	▲ 1.48	1.16	0.29	0.63	0.25
	菊川地域	▲ 6.75	▲ 5.75	0.25	6.50	5.25	1.00	▲ 3.59	1.25	2.00	2.31	▲ 0.50
	豊田地域	▲ 5.65	▲ 6.09	1.82	4.78	6.09	▲ 1.30	▲ 2.17	▲ 4.35	0.87	▲ 0.43	▲ 3.48
	豊浦地域	▲ 6.95	▲ 4.56	0.68	5.69	6.95	▲ 1.02	▲ 2.41	▲ 1.36	2.03	1.55	▲ 2.03
	豊北地域	▲ 7.20	▲ 5.77	0.38	5.38	3.08	▲ 3.85	▲ 5.00	▲ 0.77	▲ 0.74	▲ 0.74	▲ 0.74
職業	農林水産業	▲ 7.65	▲ 3.53	1.18	7.06	5.88	2.35	▲ 2.50	2.94	1.18	2.35	▲ 1.18
	自営業	▲ 8.10	▲ 4.30	2.41	4.38	5.63	▲ 0.13	▲ 1.77	0.13	1.52	▲ 1.15	1.00
	会社員	▲ 7.42	▲ 4.06	0.74	6.19	6.26	0.28	▲ 1.50	0.84	0.42	1.12	▲ 0.07
	公務員	▲ 6.54	▲ 3.20	3.27	8.56	8.46	3.40	0.38	3.65	3.27	4.90	3.20
	団体職員	▲ 6.30	▲ 4.81	▲ 0.74	7.41	7.04	▲ 1.11	▲ 1.85	▲ 0.37	1.11	1.85	0.37
	パート・アルバイト・派遣社員	▲ 7.23	▲ 3.46	▲ 0.04	5.98	6.50	0.47	▲ 1.59	0.51	0.67	1.22	▲ 0.08
	専業主婦・専業主夫	▲ 7.26	▲ 2.79	2.26	7.31	6.92	1.10	▲ 0.70	2.28	1.99	2.74	1.64
	学生	▲ 3.50	▲ 4.00	1.50	7.00	9.00	3.00	▲ 0.50	4.50	5.50	4.50	4.00
	無職	▲ 7.36	▲ 3.52	▲ 1.04	6.26	5.86	▲ 1.55	▲ 3.08	0.79	▲ 1.59	▲ 0.25	▲ 1.09
居住経緯	生まれてからずっと	▲ 7.49	▲ 3.81	1.11	6.43	6.65	0.12	▲ 1.77	0.86	0.75	0.66	0.12
	県内他市町村から	▲ 6.50	▲ 2.20	0.37	6.26	6.77	1.59	▲ 1.25	1.83	1.52	2.79	0.73
	県外から	▲ 6.99	▲ 3.63	0.19	6.28	6.15	0.58	▲ 1.15	1.54	0.58	2.09	0.73
居住年数	5年未満	▲ 5.00	▲ 1.88	0.63	5.88	6.00	2.13	0.25	3.75	0.51	2.25	0.88
	5～9年前	▲ 7.35	▲ 4.63	▲ 0.44	6.47	6.91	0.29	▲ 1.49	1.32	0.15	1.94	▲ 1.03
	10～19年前	▲ 6.41	▲ 2.73	0.54	6.59	6.80	1.34	▲ 1.17	1.32	1.78	1.41	1.17
	20年以上前	▲ 7.50	▲ 3.71	0.89	6.40	6.54	0.20	▲ 1.70	0.98	0.75	1.26	0.33
住み心地	住みやすい、まあ住みやすい	▲ 7.04	▲ 2.89	1.61	6.81	7.21	1.15	▲ 1.09	2.11	1.52	2.31	1.25
	どちらとも言えない	▲ 7.82	▲ 6.41	▲ 2.34	3.89	3.75	▲ 1.81	▲ 2.62	▲ 1.44	▲ 1.66	▲ 1.93	▲ 2.45
	住みにくい、どちらかと言えば住みにくい	▲ 8.72	▲ 7.40	▲ 3.65	6.20	3.05	▲ 4.43	▲ 5.50	▲ 5.04	▲ 3.75	▲ 4.78	▲ 5.00
下関市への愛着	感じている、やや感じている	▲ 7.09	▲ 3.10	1.39	6.89	7.17	0.99	▲ 1.10	2.04	1.54	2.28	1.07
	どちらとも言えない	▲ 7.09	▲ 5.44	▲ 0.63	4.36	4.18	▲ 1.66	▲ 2.95	▲ 1.33	▲ 1.72	▲ 1.27	▲ 1.58
	感じていない、あまり感じていない	▲ 8.79	▲ 5.34	▲ 2.95	4.45	4.35	▲ 2.51	▲ 3.61	▲ 2.87	▲ 3.00	▲ 4.03	▲ 3.68
継続居住の意思	住み続ける	▲ 6.82	▲ 2.79	1.57	6.96	7.31	1.17	▲ 1.00	2.23	1.84	2.50	1.14
	できれば住み続けたい	▲ 7.56	▲ 4.07	0.32	5.75	5.79	▲ 0.36	▲ 1.77	0.38	0.00	0.51	0.02
	できれば転出したい	▲ 8.13	▲ 5.73	▲ 2.19	5.21	5.00	▲ 0.83	▲ 3.47	▲ 1.77	▲ 1.88	▲ 1.88	▲ 2.50
	転出する予定である	▲ 6.67	▲ 5.00	▲ 1.82	5.91	4.29	0.48	▲ 2.73	▲ 1.36	▲ 0.45	0.91	▲ 3.18

(注) 問12、問13については、設問文が前回調査と異なるため、「前回比」は参考値。

令和8年6月 下関市市民実感調査 スコア一覧

		問23	問24	問25	問26	問27	問28	問29	問30	問31	問32	問33
全体		0.19	▲ 0.72	▲ 0.96	▲ 2.69	▲ 0.63	3.78	▲ 1.73	▲ 0.94	▲ 2.95	▲ 3.54	5.60
前回比		0.88	1.21	1.46	▲ 1.33	1.03	0.63	1.60	1.96	1.68	1.81	1.56
性別	男性	▲ 0.02	▲ 1.06	▲ 1.09	▲ 1.91	▲ 1.50	3.62	▲ 2.16	▲ 1.98	▲ 3.96	▲ 4.18	5.52
	女性	0.54	▲ 0.31	▲ 0.68	▲ 3.12	0.12	4.01	▲ 1.25	▲ 0.09	▲ 2.18	▲ 3.06	5.73
年齢	20歳代以下	3.11	3.22	▲ 0.33	▲ 3.89	2.67	4.22	1.11	1.00	0.22	▲ 1.56	5.78
	30歳代	1.44	0.75	0.06	▲ 2.99	▲ 0.23	4.43	0.23	0.46	▲ 1.26	▲ 2.07	5.00
	40歳代	0.65	▲ 1.01	▲ 0.72	▲ 3.24	▲ 0.32	4.07	▲ 0.64	▲ 0.16	▲ 3.16	▲ 3.45	5.83
	50歳代	0.21	▲ 0.45	▲ 0.59	▲ 1.68	▲ 0.74	3.53	▲ 2.08	▲ 1.63	▲ 3.50	▲ 3.96	6.24
	60歳代	▲ 0.73	▲ 1.65	▲ 1.54	▲ 2.36	▲ 1.18	3.46	▲ 3.13	▲ 1.85	▲ 3.44	▲ 4.03	5.23
	70歳以上	▲ 1.24	▲ 2.40	▲ 1.92	▲ 3.13	▲ 1.86	3.54	▲ 3.51	▲ 1.64	▲ 3.95	▲ 4.43	4.47
居住地域	本庁管内	0.45	▲ 0.36	▲ 0.65	▲ 3.88	▲ 0.17	2.08	▲ 1.96	▲ 1.54	▲ 2.90	▲ 3.33	5.57
	彦島地域	▲ 1.56	▲ 1.74	▲ 2.75	▲ 2.41	▲ 1.50	4.04	▲ 3.85	▲ 2.20	▲ 4.72	▲ 5.23	5.54
	山陰地域	1.16	▲ 0.83	0.06	▲ 3.02	▲ 0.33	4.40	▲ 0.58	0.00	▲ 2.33	▲ 2.98	5.94
	山陽地域	0.50	▲ 0.13	▲ 1.72	▲ 1.38	▲ 1.13	5.13	▲ 1.05	▲ 0.33	▲ 2.58	▲ 3.47	5.61
	菊川地域	▲ 1.75	▲ 0.75	0.00	▲ 1.25	0.75	5.64	0.00	1.50	▲ 2.25	▲ 3.25	7.00
	豊田地域	▲ 2.61	▲ 2.61	▲ 1.30	2.17	▲ 2.17	6.09	▲ 7.39	▲ 1.30	▲ 5.65	▲ 6.09	3.33
	豊浦地域	▲ 1.23	▲ 1.38	▲ 2.59	▲ 2.37	▲ 1.36	5.86	▲ 2.93	▲ 2.46	▲ 3.10	▲ 3.56	5.45
	豊北地域	▲ 1.92	▲ 2.22	▲ 1.85	0.37	▲ 3.46	1.92	▲ 5.38	▲ 3.70	▲ 5.56	▲ 5.56	2.50
職業	農林水産業	▲ 1.18	▲ 1.18	0.59	2.94	▲ 0.59	5.88	▲ 2.94	1.76	▲ 4.12	▲ 4.12	5.00
	自営業	▲ 0.63	▲ 1.03	▲ 1.52	▲ 2.00	▲ 0.25	2.99	▲ 3.38	▲ 1.38	▲ 2.69	▲ 3.80	8.03
	会社員	▲ 0.40	▲ 0.86	▲ 1.39	▲ 2.17	▲ 1.07	3.60	▲ 2.03	▲ 1.29	▲ 3.59	▲ 3.78	5.26
	公務員	4.04	2.60	4.23	▲ 1.63	0.87	5.67	2.60	1.06	▲ 0.77	▲ 2.12	6.63
	団体職員	0.00	0.37	0.77	▲ 1.48	2.31	3.08	▲ 2.22	1.48	▲ 2.96	▲ 2.96	6.67
	パート・アルバイト・派遣社員	▲ 0.16	▲ 1.35	▲ 1.90	▲ 3.66	▲ 1.35	3.75	▲ 1.57	▲ 0.95	▲ 2.81	▲ 3.27	4.88
	専業主婦・専業主夫	1.78	0.00	0.00	▲ 3.59	1.24	3.90	▲ 1.37	0.07	▲ 2.12	▲ 3.17	-
	学生	4.50	3.50	1.00	▲ 5.50	5.00	5.50	1.50	1.50	1.00	▲ 0.50	-
	無職	▲ 0.61	▲ 2.22	▲ 2.39	▲ 3.39	▲ 1.88	3.84	▲ 3.45	▲ 2.47	▲ 3.96	▲ 4.45	-
居住経緯	生まれてからずっと	▲ 0.17	▲ 1.09	▲ 1.58	▲ 2.20	▲ 0.63	4.01	▲ 1.80	▲ 1.03	▲ 2.97	▲ 3.76	5.43
	県内他市町村から	1.16	0.00	0.18	▲ 3.05	▲ 0.06	4.06	▲ 1.04	0.73	▲ 1.89	▲ 2.74	5.61
	県外から	0.61	▲ 0.22	▲ 0.06	▲ 3.59	▲ 0.89	3.31	▲ 1.81	▲ 1.43	▲ 3.28	▲ 3.29	5.98
居住年数	5年未満	1.13	0.50	0.00	▲ 2.53	0.63	3.38	0.00	▲ 0.51	▲ 2.63	▲ 2.03	5.44
	5～9年前	0.00	▲ 0.74	0.00	▲ 3.13	▲ 0.59	1.62	▲ 2.21	▲ 1.04	▲ 1.76	▲ 4.12	6.60
	10～19年前	1.18	▲ 0.08	0.00	▲ 4.84	0.23	4.53	▲ 1.16	▲ 0.55	▲ 1.88	▲ 2.42	6.30
	20年以上前	0.10	▲ 0.85	▲ 1.15	▲ 2.43	▲ 0.78	3.93	▲ 1.85	▲ 0.97	▲ 3.14	▲ 3.69	5.49
住み心地	住みやすい、まあ住みやすい	1.33	0.09	▲ 0.25	▲ 3.32	0.02	4.38	▲ 0.74	▲ 0.26	▲ 2.25	▲ 2.90	6.26
	どちらとも言えない	▲ 3.49	▲ 3.47	▲ 3.03	0.14	▲ 2.57	1.75	▲ 5.10	▲ 3.40	▲ 5.52	▲ 6.46	2.88
	住みにくい、どちらかと言えば住みにくい	▲ 6.16	▲ 5.61	▲ 5.95	0.20	▲ 4.59	0.15	▲ 7.58	▲ 5.02	▲ 7.33	▲ 7.15	2.98
下関市への愛着	感じている、やや感じている	1.06	0.02	▲ 0.32	▲ 3.09	0.12	4.58	▲ 0.97	▲ 0.19	▲ 2.40	▲ 3.03	6.36
	どちらとも言えない	▲ 2.04	▲ 2.63	▲ 3.08	▲ 1.08	▲ 2.61	1.22	▲ 3.82	▲ 2.87	▲ 4.20	▲ 4.94	3.65
	感じていない、あまり感じていない	▲ 4.80	▲ 5.06	▲ 3.96	▲ 1.32	▲ 5.02	▲ 0.08	▲ 6.44	▲ 5.78	▲ 6.81	▲ 6.54	1.18
継続居住の意思	住み続ける	1.25	0.12	0.03	▲ 2.83	0.28	4.64	▲ 0.72	0.19	▲ 2.12	▲ 2.72	6.57
	できれば住み続けたい	▲ 0.32	▲ 1.13	▲ 1.80	▲ 2.78	▲ 1.40	3.26	▲ 2.37	▲ 1.89	▲ 3.58	▲ 3.95	5.27
	できれば転出したい	▲ 3.47	▲ 3.85	▲ 3.02	▲ 1.04	▲ 2.60	1.46	▲ 4.90	▲ 2.92	▲ 4.90	▲ 6.77	2.25
	転出する予定である	▲ 1.82	▲ 1.43	▲ 0.91	▲ 4.09	▲ 2.27	▲ 0.91	▲ 3.64	▲ 4.55	▲ 3.64	▲ 4.55	▲ 0.63

(4) 修正地域参画総量指標 (mGAP)

今回の調査では、市民が下関市に対してどのくらい「すすめたい」「関わりたい」「地域を支える人に感謝している」と感じているかを、数値で示すための指標である、「修正地域参画総量指標 (mGAP)」を算出しました（概要や算出方法は31 ページ参照）。具体的には、「下関市を知人や友人にすすめる気持ち（推奨意欲）」、「下関市をより良くするために参加や行動しようとする気持ち（参加意欲）」、「下関市をより良くしようと活動している人に対する感謝の気持ち（感謝意欲）」の3項目について尋ね、これらを点数化しました。

その結果、「推奨意欲指数」は▲192.3、「参加意欲指数」は▲692.5、「感謝意欲指数」は1,137.6 となっており、下関市をより良くしようと活動している人に対する感謝の気持ちは相対的に高い一方、下関市をより良くするために参加や行動しようとする気持ちは相対的に低い結果となっています。なお、これら3つの指数を合計した「修正地域参画総量指標 (mGAP)」は252.8 となっています。

上記の結果からは、市民において地域活動への感謝の気持ちは強い一方で、本市を誰かにすすめたり、実際に活動へ参加したりすることには一定のハードルがあることがうかがえます。

下関市を知人や友人にすすめる気持ち（推奨意欲）

	n	%
10～8（プラス）	386	30.3
5～0（マイナス）	489	38.4
その他	400	31.4
合計	1,275	100.0
プラス－マイナス：A	▲ 8.1	
定住人口（万人）：B	23.8	
指数：A×B	▲ 192.3 ^①	

下関市をより良くするために参加や行動しようとする気持ち（参加意欲）

	n	%
10～8（プラス）	295	23.1
5～0（マイナス）	666	52.2
その他	314	24.6
合計	1,275	100.0
プラス－マイナス：A	▲ 29.1	
定住人口（万人）：B	23.8	
指数：A×B	▲ 692.5 ^②	

下関市をより良くしようと活動している人に対する感謝の気持ち（感謝意欲）

	n	%
10～8（プラス）	830	65.3
5～0（マイナス）	222	17.5
その他	220	17.3
合計	1,272	100.0
プラス－マイナス：A	47.8	
定住人口（万人）：B	23.8	
指数：A×B	1,137.6 ^③	

mGAP(①+②+③)	252.8
-------------	-------

なお、「推奨意欲」「参加意欲」「感謝意欲」のそれぞれの回答について属性別に平均値を算出したところ、「推奨意欲」と「感謝意欲」は女性、「参加意欲」は男性の方が高いほか、「20歳代以下」において3つの意欲いずれも他の年齢層より高くなっています。また、住み心地、下関市への愛着、及び下関市への継続居住意向が高いほど、3つの意欲も高い傾向がみられます。

回答者の属性ごとの推奨・参加・感謝意欲

		推奨	参加	感謝			推奨	参加	感謝
全 体		6.15	5.61	7.90	職 業	農林水産業	6.50	4.94	6.75
性 別	男性	6.04	5.83	7.74		自営業	6.03	6.23	7.96
	女性	6.29	5.49	8.05		会社員	6.07	5.57	7.89
年 齢	20歳代以下	6.56	6.10	8.41		公務員	6.93	6.63	8.28
	30歳代	6.03	5.56	8.12		団体職員	6.44	6.48	7.96
	40歳代	6.10	5.73	7.82		パート・アルバイト ・派遣社員	5.99	5.23	7.73
	50歳代	6.33	5.65	8.10		専業主婦・専業主夫	6.31	5.30	8.33
	60歳代	6.12	5.60	7.70		学生	7.00	7.15	9.10
	70歳以上	5.93	5.17	7.61		無職	5.99	5.35	7.68
居 住 地 域	本庁管内	6.23	5.83	7.94	住 み 心 地	住みやすい、 まあ住みやすい	6.62	5.83	8.17
	彦島地域	5.83	5.58	7.87		どちらとも言えない	4.25	4.53	6.81
	山陰地域	6.25	5.58	8.09		住みにくい、 どちらかと言えば住みにくい	3.26	4.56	6.43
	山陽地域	6.28	5.41	7.76	下 関 市 へ の 愛 着	感じている	7.11	6.38	8.59
	菊川地域	6.45	5.80	7.95		やや感じている	5.83	5.31	7.62
	豊田地域	4.86	4.82	6.77		どちらとも言えない	4.83	4.41	7.22
	豊浦地域	5.92	5.55	8.11		あまり感じていない	4.25	4.44	6.91
	豊北地域	5.00	4.58	6.84		感じていない	2.55	2.92	4.87
居 住 経 緯	生まれてからずっと	6.15	5.66	7.85	継 続 居 住 意 向	住み続ける	6.79	5.92	8.24
	県内他市町村から	6.31	5.48	7.97		できれば住み続けたい	5.72	5.43	7.72
	県外から	6.13	5.53	8.00		できれば転出したい	4.04	4.53	6.64
居 住 年 数	5年未満	6.28	5.70	8.25		転出したい	5.77	3.90	7.36
	5～9年前	5.90	5.57	8.06					
	10～19年前	6.11	5.74	8.24					
	20年以上	6.18	5.59	7.83					

※参考：修正地域参画総量指標（mGAP）とは

修正地域参画総量指標（mGAP）は、様々な自治体が進めているシティプロモーションの取組が、それらの自治体で暮らす住民の気持ちや行動につながっているかを確認するために用いる指標です。

一般的な満足度調査では「満足しているか」を尋ねることが多いですが、mGAPでは、満足しているだけでなく、「人におすすめしたいか」「地域の活動に参加したいか」「地域を支えている人に感謝しているか」という、まちとの関わり方に注目します。

mGAPでは、住民の気持ちを次の3つに分けて把握します。

- ・ 推奨意欲：住んでいる地域を家族や友人などにすすめたいと思う気持ち
- ・ 参加意欲：イベントや地域活動に参加してみたいと思う気持ち
- ・ 感謝意欲：地域を良くするために活動している人や団体に感謝する気持ち

このように、mGAPは「住んでいる地域が好きかどうか」だけでなく、住民がまちにどのように関わろうとしているかを把握するための指標です。なお、この考え方は山口県外の一部自治体でも導入されています（次ページ参照）。

【算出方法】

mGAPは、アンケートの回答を次の流れで点数化して算出します。

＜ステップ①：住民の気持ちを点数で回答してもらう＞

「住んでいる地域を人にすすめたいですか（推奨意欲）」「地域活動に参加したいですか（参加意欲）」「地域活動に関わる人に感謝していますか（感謝意欲）」といった質問について、0点から10点までの11段階で回答してもらい、その結果を以下の3つに分類します。

- ポジティブ層：高い点数（8～10点）をつけた人
- 中立層：中間の点数（6～7点）をつけた人
- ネガティブ層：低い点数（0～5点）をつけた人

＜ステップ②：それぞれの項目の点数を出す＞

推奨意欲・参加意欲・感謝意欲のそれぞれについて、「高い点数をつけた人の割合」から「低い点数をつけた人の割合」を差し引きます。

各項目のスコア＝ポジティブ層の割合（％）－ネガティブ層の割合（％）

- 高い点数をつけた人が多いほど、スコアはプラスになります。
- 低い点数をつけた人が多いほど、スコアはマイナスになります。

＜ステップ③：地域全体の点数に換算する＞

最後に、3つのスコアそれぞれに定住人口を掛け合わせたものを合計します。これがmGAPポイントです。

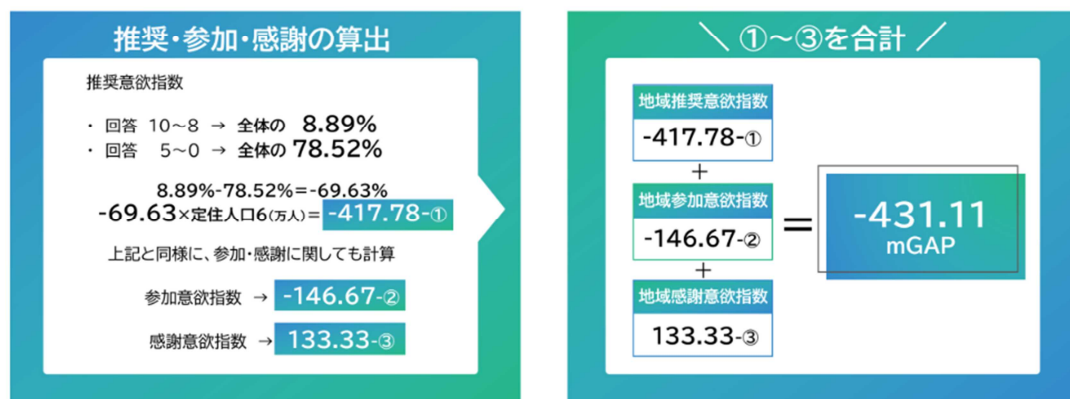
【目的】

mGAP を用いる主な目的は、次の3点です。

- ① 取組の効果を把握しやすくする：感覚的に「好評だった」と判断するだけでなく、住民の気持ちの変化を数値で確認することができます。
- ② 強みや課題を整理しやすくする：年代別や項目別にみることで、「若い世代は参加意欲が高い」「高齢の世代はおすすめしたい気持ちが弱い」など、どこに強みや課題があるかを把握する際の参考になります。
- ③ 次の取組の検討に生かす：年度ごとの変化を比べることで、取組の継続や見直しを検討する際の参考になります。

* 修正地域参画総量指標（mGAP）導入事例（茨城県常総市：令和7年度調査結果）

常総市の修正地域参画総量（mGAP）は-431.11ポイント



今回実施した調査から求めた修正地域参画総量（mGAP）ポイントは-431.11ポイントでした。

なお、地域推奨量は-417.78ポイント、地域参加量は-146.67ポイント、地域感謝量は133.33ポイントとなりました。

（資料）常総市ホームページ「修正地域参画総量指標（mGAP）調査結果から見る常総市シティプロモーションの現在と未来」

5. 回答者の属性内訳（子育て世代）

※市内在住の就学前児童及び就学児童の保護者宛てに送付

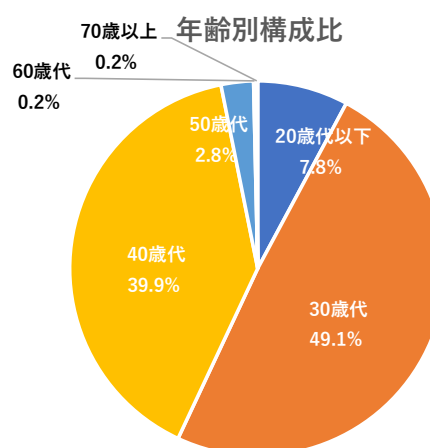
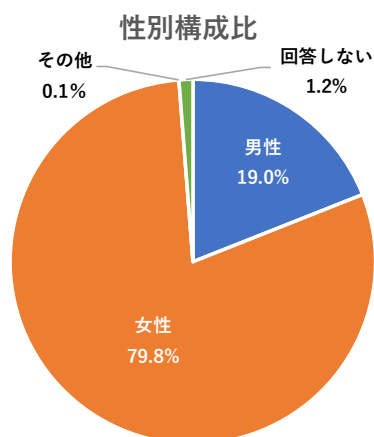
（1）性別／年齢

性別

	n	%
男性	109	19.0
女性	458	79.8
その他	0	0.0
回答しない	7	1.2
合 計	574	100.0

年齢別

	n	%
20歳代以下	45	7.8
30歳代	282	49.1
40歳代	229	39.9
50歳代	16	2.8
60歳代	1	0.2
70歳以上	1	0.2
合 計	574	100.0

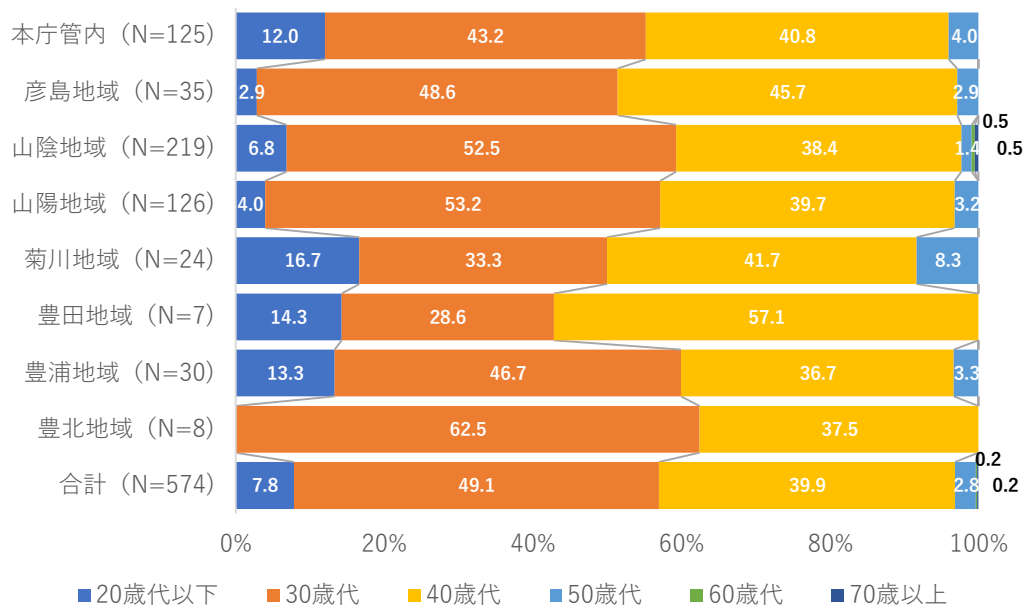


男女・年齢別

		年齢						
		20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
合 計	n	45	282	229	16	1	1	574
	%	7.8	49.1	39.9	2.8	0.2	0.2	100.0
男 性	n	8	47	45	8	1	0	109
	%	7.3	43.1	41.3	7.3	0.9	0.0	100.0
女 性	n	37	232	180	8	0	1	458
	%	8.1	50.7	39.3	1.7	0.0	0.2	100.0
その他	n	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答しない	n	0	3	4	0	0	0	7
	%	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	100.0

- 回答者数 574 人のうち女性がほぼ 8 割を占めています。

居住地域別・年齢別

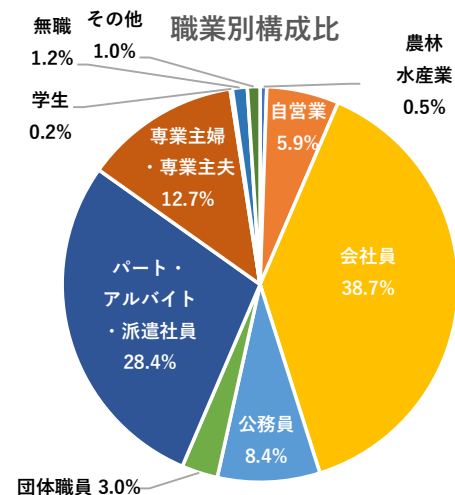


- 回答者の年齢別構成比をみると、全体では「30歳代」及び「40歳代」が合計で9割近くとなっています。
- 居住地域別にみると、「菊川地域」など4地域では「20歳代以下」が1割を超えています。

(2) 職業

職業別

	n	%
農林水産業	3	0.5
自営業	34	5.9
会社員	222	38.7
公務員	48	8.4
団体職員	17	3.0
パート・アルバイト・派遣社員	163	28.4
専業主婦・専業主夫	73	12.7
学生	1	0.2
無職	7	1.2
その他	6	1.0
合計	574	100.0



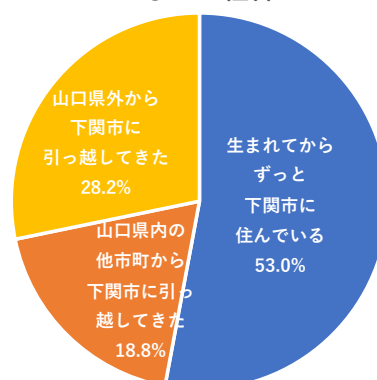
- 職業別では「会社員」が約4割と最多で、続いて、「パート・アルバイト・派遣社員」が約3割、「専業主婦・専業主夫」が1割超となっています。

(3) 居住の経緯

下関市に住むようになった経緯

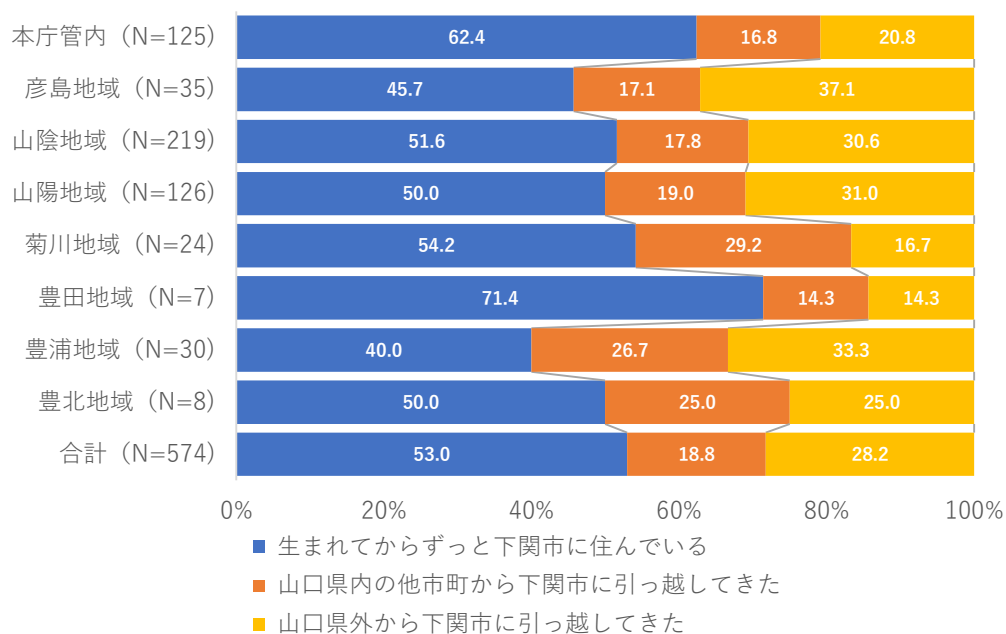
	n	%
生まれてからずっと下関市に住んでいる	304	53.0
山口県内の他市町から下関市に引っ越してきた	108	18.8
山口県外から下関市に引っ越してきた	162	28.2
合 計	574	100.0

下関市に住むようになった経緯



- 下関市居住の経緯については、「生まれてからずっと下関市に住んでいる」が5割超と最多で、続いて、「山口県外から下関市に引っ越してきた」が約3割、「山口県内の他市町から下関市に引っ越してきた」が約2割となっています。

居住地域別・住むようになった経緯別



- 下関市に住むようになった経緯を居住地域別にみると、「本庁地域」は「生まれてからずっと下関市に住んでいる」が6割を超えています。一方、「彦島地域」や「豊北地域」では、「山口県外から下関市に引っ越してきた」と「山口県内の他市町から下関市に引っ越してきた」の合計が5割を超えています。

山口県外から下関市に引っ越す前の都道府県

	n	%		n	%		n	%
北海道	1	0.6	静岡県	2	1.2	福岡県	65	40.1
青森県	1	0.6	愛知県	3	1.9	佐賀県	1	0.6
岩手県	1	0.6	三重県	2	1.2	長崎県	1	0.6
茨城県	1	0.6	京都府	2	1.2	熊本県	6	3.7
栃木県	3	1.9	大阪府	17	10.5	大分県	2	1.2
埼玉県	1	0.6	兵庫県	4	2.5	宮崎県	3	1.9
千葉県	4	2.5	鳥取県	1	0.6	鹿児島県	3	1.9
東京都	7	4.3	島根県	3	1.9	沖縄県	2	1.2
神奈川県	8	4.9	岡山県	6	3.7	合 計	162	100.0
富山県	1	0.6	広島県	8	4.9			
石川県	1	0.6	愛媛県	2	1.2			

* 該当者のいない都道府県は記載を省略しています。

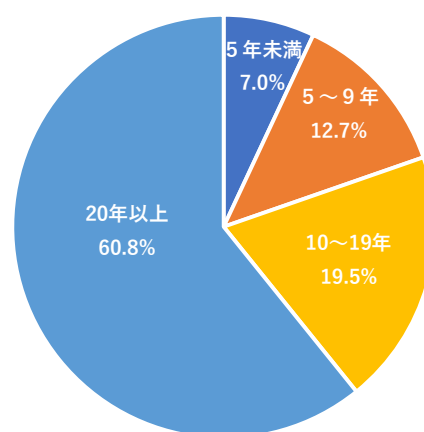
- 「山口県外から下関市に引っ越してきた」と回答した人の引っ越す前の都道府県は、「福岡県」が4割で最も多く、続いて、「大阪府」「神奈川県」「広島県」等の順となっています。

(4) 居住年数

下関市での居住年数

	n	%
5年未満	40	7.0
5～9年	73	12.7
10～19年	112	19.5
20年以上	349	60.8
合 計	574	100.0

居住年数構成比

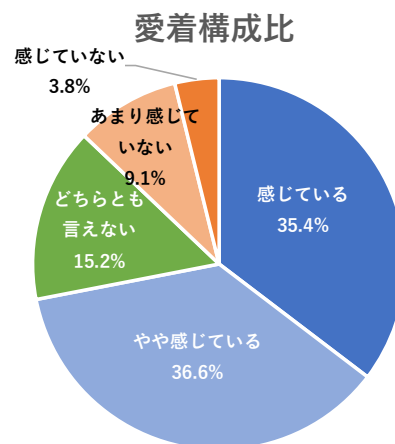


- 居住年数をみると、20年以上下関市に居住している人が6割で最も多くなっています。

(5) 下関市への愛着

下関市に対して「自分のまち」として愛着を感じているか

	n	%
感じている	203	35.4
やや感じている	210	36.6
どちらとも言えない	87	15.2
あまり感じていない	52	9.1
感じていない	22	3.8
合 計	574	100.0

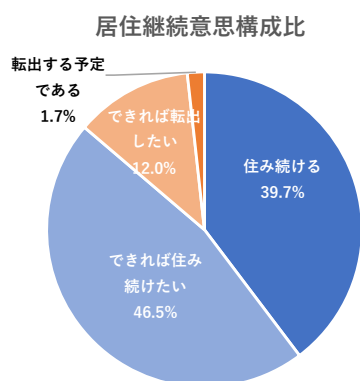


- 下関市への愛着については、「やや感じている」が3割台半ばと最も多く、「感じている」を含めると7割超を占めています。「あまり感じていない」「感じていない」は、合計で1割程度の水準です。

(6) 居住継続の意思

これからも下関市に住み続けたいか

	n	%
住み続ける	228	39.7
できれば住み続けたい	267	46.5
できれば転出したい	69	12.0
転出する予定である	10	1.7
全体	574	100.0



住み続ける（住み続けたい）理由、もしくは転出したい（する）理由〔複数回答〕

	全サンプル		居住継続意思別			
			住み続ける、 できれば住み続けたい		できれば転出したい、 転出する予定である	
	n	%	n	%	n	%
まちへの愛着・自信・誇り・土地柄	209	36.4	193	39.0	16	20.3
都市の魅力・センス・イメージ	38	6.6	19	3.8	19	24.1
家業、親の介護などの家庭の事情	123	21.4	117	23.6	6	7.6
働く場所（仕事）	208	36.2	181	36.6	27	34.2
通勤・通学などの交通の便	121	21.1	96	19.4	25	31.6
物価の水準などの暮らしやすさ	78	13.6	70	14.1	8	10.1
地価などの住宅条件	41	7.1	35	7.1	6	7.6
教育環境	61	10.6	36	7.3	25	31.6
福祉（保育、子育て支援など）	108	18.8	90	18.2	18	22.8
福祉（高齢者・障害者サービス）	18	3.1	16	3.2	2	2.5
都市基盤（施設の充実）	42	7.3	21	4.2	21	26.6
安全・安心（保健・医療）	66	11.5	57	11.5	9	11.4
安全・安心（犯罪・災害）	123	21.4	122	24.6	1	1.3
自然や食の豊かさ	147	25.6	140	28.3	7	8.9
その他	32	5.6	25	5.1	7	8.9
合計	574	100.0	495	100.0	79	100.0

- 「住み続ける」又は「できれば住み続けたい」と回答した人が合計で8割台半ばに達しています。
- 「住み続ける」又は「できれば住み続けたい」と答えた人の理由は、「働く場所（仕事）」「まちへの愛着・自信・誇り・土地柄」「自然や食の豊かさ」が上位となっています。
- 一方、「できれば転出したい」又は「転出する予定である」と答えた人の理由では、「働く場所（仕事）」が最も多く、続いて、「通勤・通学などの交通の便」「教育環境」が同率となっています。
- 子育て世代では、働く場所が定住希望・転出希望の双方に関係していることがうかがえます。また、交通利便性や教育環境に関する回答もみられ、これらの点は子育て世代の定住意向を考える上で参考になります。

住み続ける（住み続けたい）理由、もしくは転出したい（する）理由の「その他」の記述内容

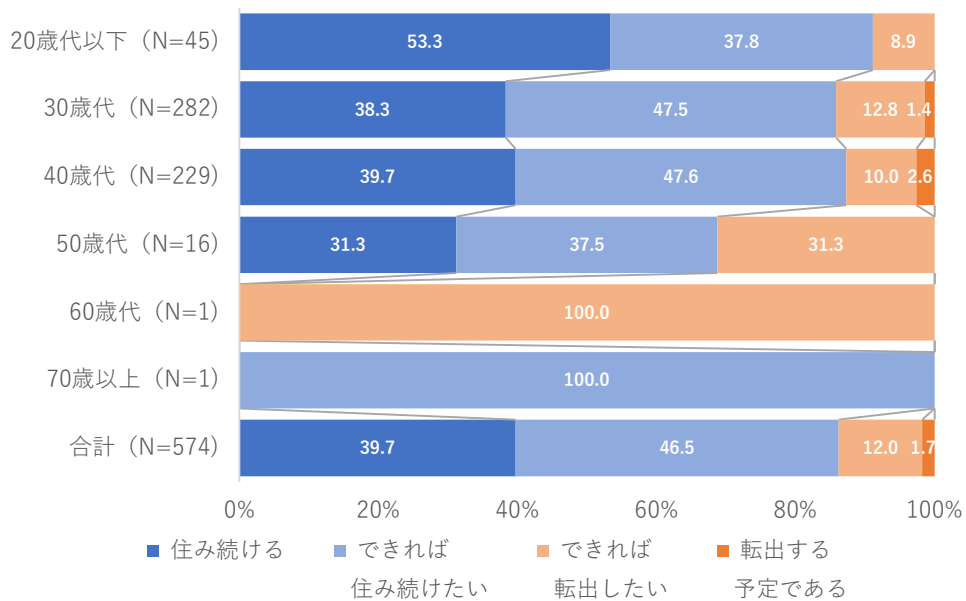
【住み続ける、できれば住み続けたい】

- 家を建てているから・家があるから（6名）
- 実家があるから
- 実家や親戚がいるから
- 親族がいるから
- 家族や友達がいるから
- 子供が大きくなるまではこのまま安定していきたい。
- 子どもの世話を親に頼むため
- 子供の環境の変化を避けるため
- 友人関係が良いから
- 友達ができたため
- 結婚
- 慣れた街だから
- 慣れた
- 引っ越す理由がない
- 豊田町の生活バス
- 災害が少なく感じる
- 新幹線がある
- 身近に観光名所が多い
- 水族館や博物館、図書館、競艇場、モービー、室内遊び場公園…と子どもと楽しめる場所が充実している。あとは単純に持ち家だから下関に住み続けるかな。

【できれば転出したい、転出する予定である】

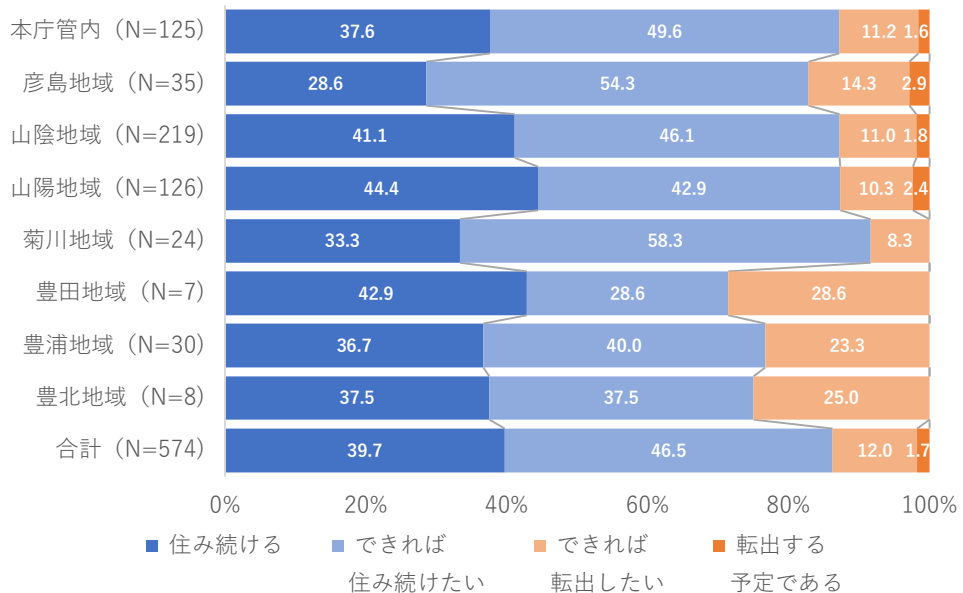
- 転勤族のため
- 実家の近くに住みたい。その方が子育てのフォローが受けやすい。
- 家を建てる土地が見つからない
- 生活環境や治安面に不安を感じており、子育てに適した環境ではないと感じている。
- 海外へ移住したい
- 地域になじみにくさを感じている。
- 人口減少、少子化で将来展望が描けない

年齢別・居住継続の意思別



- 「住み続ける」と回答した割合を年齢別にみると（回答1件の「60歳代」「70歳以上」は除く）、「20歳代以下」が5割超で最も高く、「40歳代」と「30歳代」が約4割となっています。一方、「できれば転出したい」「転出する予定である」と回答した割合の合計は、「50歳代」で3割超と最も高くなっています。

居住地域別・居住継続の意思別



- 「住み続ける」と回答した割合は「山陽地域」で最も高く、「彦島地域」で最も低くなっています。「住み続ける」又は「できれば住み続けたい」と回答した割合の合計は、「菊川地域」で9割超に達し、「本庁管内」、「彦島地域」、「山陰地域」、「山陽地域」で8割を超えています。

6. 調査結果（子育て世代）

（1）住み心地のスコア化

「住みよい」との回答を＋10、「まあ住みよい」との回答を＋5、「どちらとも言えない」との回答を0、「どちらかと言えば住みにくい」との回答を－5、「住みにくい」との回答を－10として集計（「分からない」「不明」は集計から除外）し、その平均値でスコア化すると、下関市の住み心地スコアは＋4.86となっています（全世代調査比▲0.58ポイント）。

肯定回答（「住みやすい」もしくは「まあ住みやすい」）の割合（％）	79.4
スコア値（「住みやすい」＋10、「まあ住みやすい」＋5、「どちらとも言えない」0、「どちらかと言えば住みにくい」－5、「住みにくい」－10とした平均値。「分からない」「不明」は除外して集計）	4.86

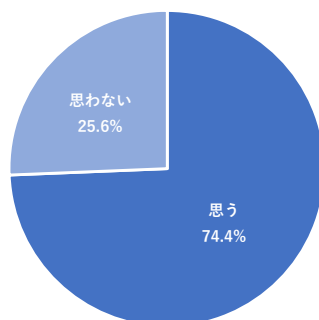
回答者の属性ごとの住み心地スコア

		スコア	全世代調査比			スコア	全世代調査比
全 体		4.86	▲0.58	職 業	農林水産業	1.67	▲3.04
性 別	男性	4.54	▲0.50		自営業	3.09	▲1.91
	女性	5.00	▲0.79		会社員	5.07	▲0.34
年 齢	20歳代以下	5.33	▲0.33		公務員	5.42	▲0.45
	30歳代	4.93	▲0.36		団体職員	5.29	▲0.45
	40歳代	4.80	▲0.70		パート・アルバイト・派遣社員	5.06	▲0.04
	50歳代	3.13	▲2.20		専業主婦・専業主夫	4.73	▲1.34
	60歳代	0.00	▲5.22		学生	0.00	▲5.75
	70歳以上	10.00	4.04		無職	2.14	▲3.07
居 住 地 域	本庁管内	4.44	▲1.20	住 み 心 地	住みやすい、まあ住みやすい	6.58	▲0.50
	彦島地域	4.29	▲0.76		どちらとも言えない	0.00	0.00
	山陰地域	5.53	▲0.23		住みにくい、どちらかと言えば住みにくい	▲6.18	0.58
	山陽地域	5.08	▲0.67		感じている	7.41	▲0.27
	菊川地域	4.17	▲0.83	下 関 市 へ の 愛 着	やや感じている	5.00	0.34
	豊田地域	▲2.86	▲5.25		どちらとも言えない	2.64	▲0.08
	豊浦地域	4.00	▲0.49		あまり感じていない	0.87	▲0.15
	豊北地域	4.38	1.97		感じていない	▲1.82	1.90
居 住 経 緯	生まれてからずっと	5.48	▲0.28	継 続 居 住 意 向	住み続ける	7.11	▲0.02
	県内他市町村から	3.70	▲1.54		できれば住み続けたい	4.21	▲0.12
	県外から	4.48	▲0.43		できれば転出したい	▲0.07	▲0.38
居 住 年 数	5年未満	4.63	▲0.06		転出したい	5.00	3.86
	5～9年前	3.90	0.23				
	10～19年前	4.73	0.08				
	20年以上	5.13	▲0.60				

属性別にみると、住み心地スコアは全体としてプラスであるものの、全世代調査と比べるとスコアはやや低く、年齢や居住地域、居住経緯による差もみられます。

(2) 子育てのしやすさ

子育てのしやすいまち



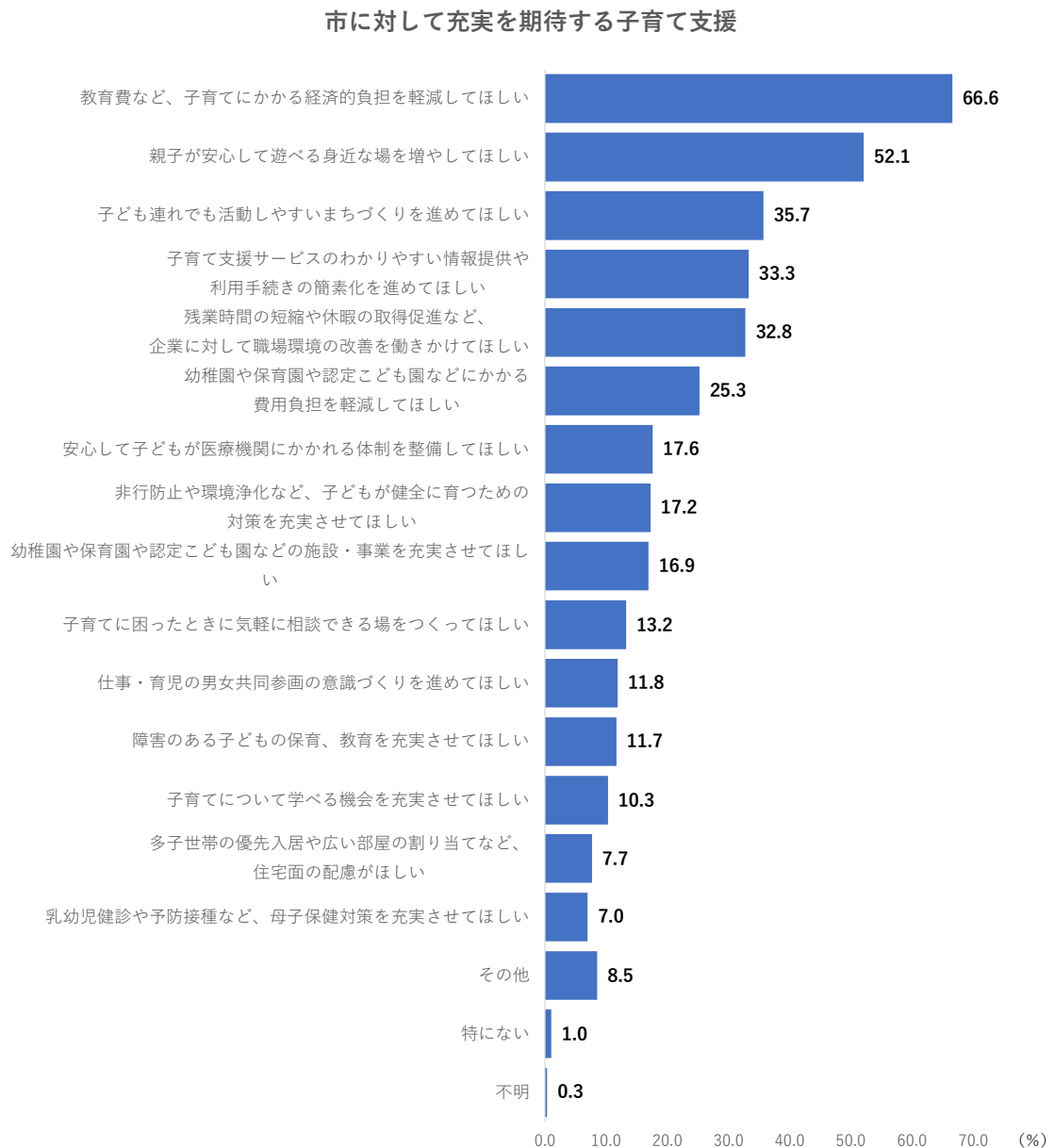
子育てのしやすいまちだと思うか

			思う	思わない
性別	男性 (N=109)	n	80	29
		%	73.8	26.2
	女性 (N=458)	n	343	115
		%	74.8	25.2
年齢	20歳代以下 (N=45)	n	36	9
		%	80.4	19.6
	30歳代 (N=282)	n	212	70
		%	75.0	25.0
	40歳代 (N=229)	n	168	61
		%	73.4	26.6
	50歳代 (N=16)	n	10	6
		%	62.5	37.5
	60歳代 (N=1)	n	1	0
		%	100.0	0.0
	70歳以上 (N=1)	n	0	1
		%	0.0	100.0
合 計 (N=574)		n	427	147
		%	74.4	25.6

* 不明等の回答については、過去の回答傾向に基づいた統計的手法により調整を行っています。

- 下関市の子育てのしやすさについては、「思う」が7割を超えています。
- 性別にみると、「思う」との回答割合は「男性」よりも「女性」で1ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると（回答1件の「60歳代」「70歳以上」は除く）、「思う」との回答割合は、「20歳代以下」が8割と最も高く、年代が高くなるにつれて回答割合は低下しています。
- 以上を踏まえると、子育てがしやすいとの実感には、年代別のニーズに応じた情報提供や支援のあり方が関係していることがうかがえます。

(3) 市に対して特に充実を期待する子育て支援



- 子育て支援において、最も充実を期待しているのは、「教育費など、子育てにかかる経済的負担を軽減してほしい」で6割台半ばとなりました。続いて、「親子が安心して遊べる身近な場を増やしてほしい」が5割超、「子ども連れでも活動しやすいまちづくりを進めてほしい」「子育て支援サービスの分かりやすい情報提供や利用手続きの簡素化を進めてほしい」「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が3割台で続いています。

市に対して充実を期待する子育て支援（上位10項目）

			教育費など、子育てにかか る経済的負担を軽減してほ しい	親子が安 心して遊 べる身近 な場を増 やしてほ しい	子ども連 れでも活 動しやす いまちづ くりを進 めてほし い	子育て支 援サービ スのわか りやすい 情報提供 や利用手 続きの簡 素化を進 めてほし い	残業時間 の短縮や 休暇の取 得促進な ど、企業 に対して 職場環境 の改善を 働きかけ てほしい	幼稚園や 保育園や 認定こど も園など にかかる 費用負担 を軽減し てほしい	安心して 子どもが 医療機関 にかかれ る体制を 整備して ほしい	非行防止 や環境浄 化など、 子どもが 健全に育 つための 対策を充 実させて ほしい	幼稚園や 保育園や 認定こど も園など の施設・ 事業を充 実させて ほしい	子育てに 困ったと きに気軽 に相談で きる場を つくって ほしい
性別	男性 (N=109)	n	67	59	40	30	31	38	19	14	21	13
		%	61.5	54.1	36.7	27.5	28.4	34.9	17.4	12.8	19.3	11.9
	女性 (N=458)	n	311	240	163	160	156	104	81	83	76	63
		%	67.9	52.4	35.6	34.9	34.1	22.7	17.7	18.1	16.6	13.8
年齢	20歳代以下 (N=45)	n	27	22	19	11	14	20	2	6	17	2
		%	60.0	48.9	42.2	24.4	31.1	44.4	4.4	13.3	37.8	4.4
	30歳代 (N=282)	n	187	155	98	88	97	89	52	34	58	32
		%	66.3	55.0	34.8	31.2	34.4	31.6	18.4	12.1	20.6	11.3
	40歳代 (N=229)	n	159	114	82	81	71	34	45	57	20	38
		%	69.4	49.8	35.8	35.4	31.0	14.8	19.7	24.9	8.7	16.6
	50歳代 (N=16)	n	8	8	5	10	6	2	2	1	2	4
		%	50.0	50.0	31.3	62.5	37.5	12.5	12.5	6.3	12.5	25.0
	60歳代 (N=1)	n	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
		%	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70歳以上 (N=1)	n	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		%	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計 (N=574)		n	382	299	205	191	188	145	101	99	97	76
		%	66.6	52.1	35.7	33.3	32.8	25.3	17.6	17.2	16.9	13.2

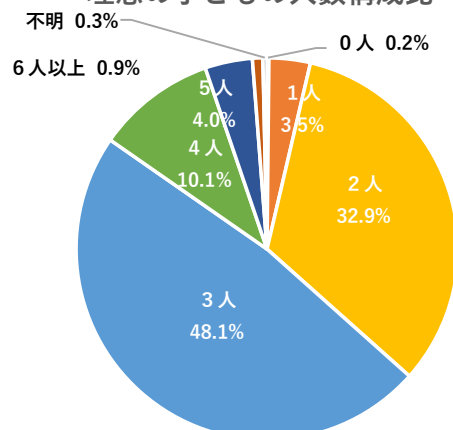
- 性別にみると、「男性」では、「幼稚園や保育園や認定こども園などにかかる費用負担を軽減してほしい」の回答割合が女性を10ポイント超上回っています。一方、「女性」では、「子育て支援サービスの分かりやすい情報提供や利用手続きの簡素化を進めてほしい」等の回答割合が男性よりも高くなっています。
- 年齢別にみると、「20歳代以下」では、「幼稚園や保育園や認定こども園などにかかる費用負担を軽減してほしい」「幼稚園や保育園や認定こども園などの施設・事業を充実させてほしい」が他年齢より10ポイント超高くなっています。また、「40歳代」では、「非行防止や環境浄化など、子どもが健全に育つための対策を充実させてほしい」が他年齢を10ポイント超上回っています。
- 上記の通り、子育て世帯では経済的負担の軽減に対する期待が最も大きく、安心して遊べる場や子ども連れで活動しやすい環境、情報提供・手続きの簡素化、職場環境の改善も重視されています。

(4) 理想の子どもの人数と現実的な子どもの人数

理想の子どもの人数

	n	%
0 人	1	0.2
1 人	20	3.5
2 人	189	32.9
3 人	276	48.1
4 人	58	10.1
5 人	23	4.0
6 人以上	5	0.9
不明	2	0.3
全体	574	100.0

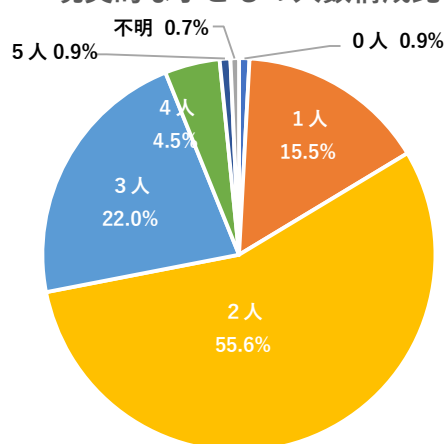
理想の子どもの人数構成比



現実的に育てられる子どもの人数

	n	%
0 人	5	0.9
1 人	89	15.5
2 人	319	55.6
3 人	126	22.0
4 人	26	4.5
5 人	5	0.9
不明	4	0.7
全体	574	100.0

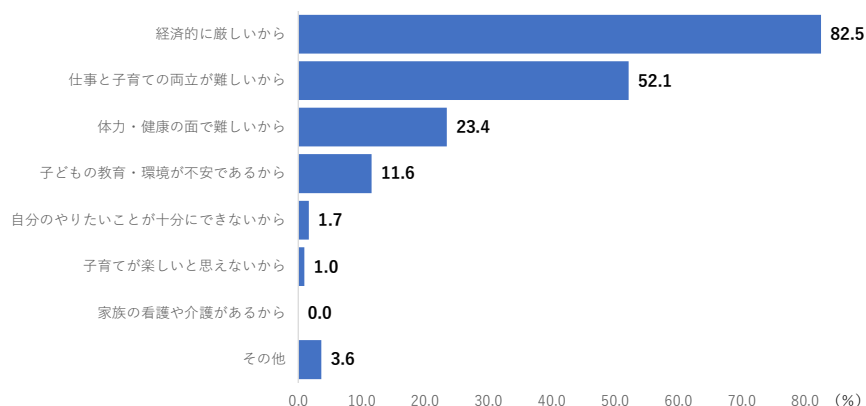
現実的な子どもの人数構成比



- 理想の子どもの人数は「3人」が約5割と最も多く、続いて、「2人」が3割超となっており、8割の人が2～3人を理想としています。
- 一方で、現実的に育てられる子どもの人数をみると、「2人」が最多で5割超、続いて、「3人」が2割超、「1人」が1割台半ばとなっており、理想と現実の間にはギャップがみられます。

(5) 現実的に育てられる子どもの人数が理想の子どもの人数よりも少ない理由

「現実的な子どもの人数」が「理想の子どもの人数」よりも少ない理由

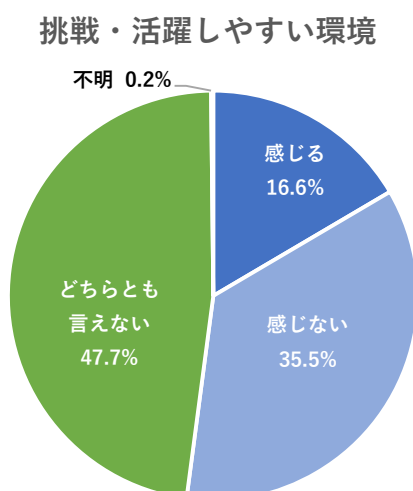


「現実的な子どもの人数」が「理想の子どもの人数」より少ない理由

			経済的に厳しいから	仕事と子育ての両立が難しいから	体力・健康の面で難しいから	子どもの教育・環境が不安であるから	自分のやりたいことが十分にできないから	子育てが楽しいと思えないから	家族の看護や介護があるから	その他
性別	男性 (N=49)	n	44	29	6	6	1	0	0	1
		%	89.8	59.2	12.2	12.2	2.0	0.0	0.0	2.0
	女性 (N=251)	n	203	129	64	28	4	3	0	10
		%	80.9	51.4	25.5	11.2	1.6	1.2	0.0	4.0
年齢	20歳代以下 (N=33)	n	30	16	3	4	1	1	0	0
		%	90.9	48.5	9.1	12.1	3.0	3.0	0.0	0.0
	30歳代 (N=147)	n	120	80	31	17	4	2	0	7
		%	81.6	54.4	21.1	11.6	2.7	1.4	0.0	4.8
	40歳代 (N=113)	n	92	58	34	12	0	0	0	4
		%	81.4	51.3	30.1	10.6	0.0	0.0	0.0	3.5
	50歳代 (N=10)	n	8	4	3	2	0	0	0	0
		%	80.0	40.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計 (N=303)		n	250	158	71	35	5	3	0	11
		%	82.5	52.1	23.4	11.6	1.7	1.0	0.0	3.6

- 「現実的に育てられる子どもの人数」が「理想の子どもの人数」よりも少ない人に、その理由を尋ねたところ、「経済的に厳しいから」が8割超で最も多く、続いて、「仕事と子育ての両立が難しいから」が5割超、「体力・健康の面で難しいから」が2割超などとなっています。
- 性別にみると、「男性」では、「経済的に厳しいから」「仕事と子育ての両立が難しいから」が「女性」を5ポイント超上回る一方、「女性」は「体力・健康の面で難しいから」が「男性」を10ポイント超上回っています。
- 年齢別にみると、「経済的に難しいから」との回答割合が、「20歳代以下」で9割となった一方、「40歳代」では「体力・健康の面で難しいから」が3割と「20歳代以下」を上回っています。
- 以上を踏まえると、理想と現実の子ども数の差には、経済的負担や仕事と子育ての両立のしやすさが関係していることが示唆されます。

(6) 挑戦でき活躍しやすい環境



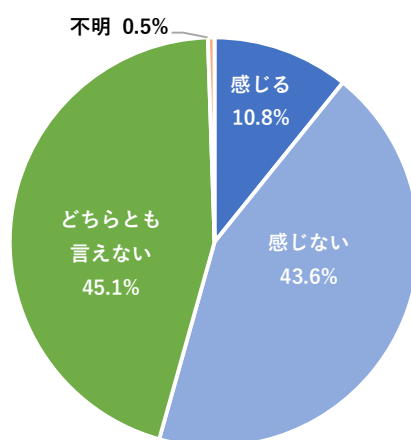
挑戦でき活躍しやすい環境が整っていると感じるか

			感じる	感じない	どちらとも 言えない	不明
性別	男性 (N=109)	n	27	38	44	0
		%	24.8	34.9	40.4	0.0
	女性 (N=458)	n	66	163	228	1
		%	14.4	35.6	49.8	0.2
年齢	20歳代以下 (N=45)	n	8	12	25	0
		%	17.8	26.7	55.6	0.0
	30歳代 (N=282)	n	52	101	128	1
		%	18.4	35.8	45.4	0.4
	40歳代 (N=229)	n	31	84	114	0
		%	13.5	36.7	49.8	0.0
	50歳代 (N=16)	n	3	7	6	0
		%	18.8	43.8	37.5	0.0
	60歳代 (N=1)	n	1	0	0	0
		%	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳以上 (N=1)	n	0	0	1	0
		%	0.0	0.0	100.0	0.0
合 計 (N=574)		n	95	204	274	1
		%	16.6	35.5	47.7	0.2

- 挑戦でき活躍しやすい環境が整っているかについては、「感じる」が1割台半ばであるのに対し、「感じない」が3割台半ばとなっているほか、「どちらとも言えない」が約5割と最も多くなっています。
- 年齢別にみると、「感じない」との回答割合は、「50歳代」で4割超と最も高く、「20歳代以下」で2割台半ばと最も低くなっています。

(7) やりたい仕事の見つけやすさ

やりたい仕事の見つけやすさ

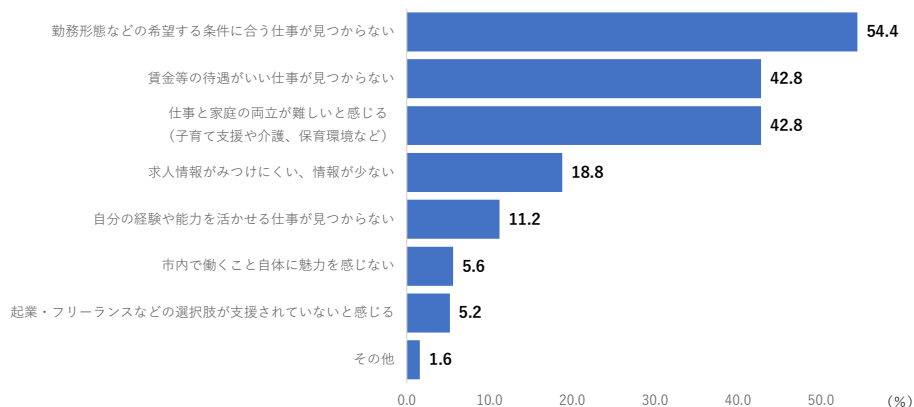


市内でやりたい仕事を見つげやすいと感じるか

			感じる	感じない	どちらとも 言えない	不明
性別	男性 (N=109)	n	15	54	40	0
		%	13.8	49.5	36.7	0.0
	女性 (N=458)	n	47	193	216	2
		%	10.3	42.1	47.2	0.4
年齢	20歳代以下 (N=45)	n	6	21	18	0
		%	13.3	46.7	40.0	0.0
	30歳代 (N=282)	n	40	120	120	2
		%	14.2	42.6	42.6	0.7
	40歳代 (N=229)	n	16	97	115	1
		%	7.0	42.4	50.2	0.4
	50歳代 (N=16)	n	0	12	4	0
		%	0.0	75.0	25.0	0.0
	60歳代 (N=1)	n	0	0	1	0
		%	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳以上 (N=1)	n	0	0	1	0
		%	0.0	0.0	100.0	0.0
合 計 (N=574)		n	62	250	259	3
		%	10.8	43.6	45.1	0.5

- 市内でのやりたい仕事の見つけやすさについては、「感じる」が1割であるのに対し、「感じない」が4割超となっています。また、「どちらとも言えない」が4割台半ばで最も多くなっています。
- 性別にみると、「感じない」との回答割合は、「男性」が「女性」を5ポイント超上回っています。
- 年齢別にみると、「感じない」との回答割合は、「50歳代」で7割台半ばと最も高く、「20歳代以下」「30歳代」「40歳代」でも4割を超えています。

市内でやりたい仕事が見つからない理由



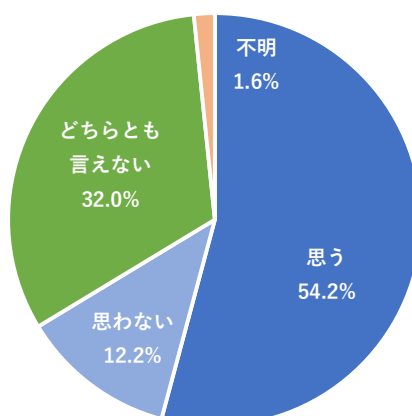
市内でやりたい仕事が見つからない理由

			勤務形態などの希望する条件に合う仕事が見つからない	賃金等の待遇がいい仕事が見つからない	仕事と家庭の両立が難しいと感じる (子育て支援や介護、保育環境など)	求人情報がみつけない、情報が少ない	自分の経験や能力を活かせる仕事が見つからない	市内で働くこと自体に魅力を感じない	起業・フリーランスなどの選択肢が支援されていないと感じる	その他
性別	男性 (N=54)	n	14	33	15	10	11	7	6	0
		%	25.9	61.1	27.8	18.5	20.4	13.0	11.1	0.0
	女性 (N=193)	n	122	73	92	36	17	6	6	3
		%	63.2	37.8	47.7	18.7	8.8	3.1	3.1	1.6
年齢	20歳代以下 (N=21)	n	13	8	8	4	1	2	1	1
		%	61.9	38.1	38.1	19.0	4.8	9.5	4.8	4.8
	30歳代 (N=120)	n	73	48	48	24	15	4	8	3
		%	60.8	40.0	40.0	20.0	12.5	3.3	6.7	2.5
	40歳代 (N=97)	n	46	44	49	17	8	6	3	0
		%	47.4	45.4	50.5	17.5	8.2	6.2	3.1	0.0
	50歳代 (N=12)	n	4	7	2	2	4	2	1	0
		%	33.3	58.3	16.7	16.7	33.3	16.7	8.3	0.0
合計 (N=250)		n	136	107	107	47	28	14	13	4
		%	54.4	42.8	42.8	18.8	11.2	5.6	5.2	1.6

- 「感じない」と回答した人にそのように感じる理由を尋ねたところ、「勤務形態などの希望する条件に合う仕事が見つからない」が5割超で最も多くなっています。続いて、「賃金等の待遇のいい仕事が見つからない」「仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）」が4割超となっています。
- 性別にみると、「男性」の6割超が「賃金等の待遇のいい仕事が見つからない」と回答しています。一方で、「女性」は「勤務形態などの希望する条件に合う仕事が見つからない」が6割超で最も多く、「仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）」の回答割合も「男性」を20ポイント近く上回っています。
- 年齢別にみると、「20歳代以下」と「30歳代」は「勤務形態などの希望する条件に合う仕事が見つからない」が6割超、「40歳代」は「仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）」が5割を超えています。
- 以上を踏まえると、子育て世代の就業意向には、希望する雇用条件や仕事・子育ての両立のしやすさが関係していることがうかがえます。

(8) 仕事の継続意向

仕事の継続意向（就業者）

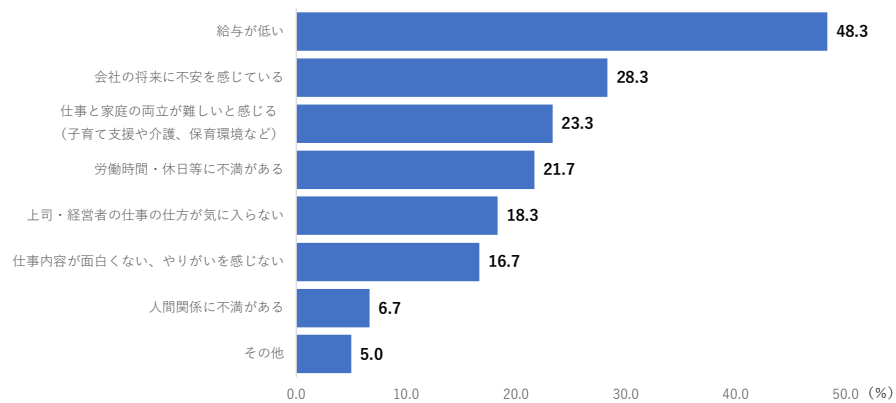


現在、就いている仕事を続けたいと思うか（就業者）

			思う	思わない	どちらとも言えない	不明
性別	男性 (N=108)	n	66	7	35	0
		%	61.1	6.5	32.4	0.0
	女性 (N=379)	n	200	51	121	7
		%	52.8	13.5	31.9	1.8
年齢	20歳代以下 (N=40)	n	16	6	18	0
		%	40.0	15.0	45.0	0.0
	30歳代 (N=244)	n	129	33	77	5
		%	52.9	13.5	31.6	2.0
	40歳代 (N=194)	n	111	20	60	3
		%	57.2	10.3	30.9	1.5
	50歳代 (N=14)	n	10	1	3	0
		%	71.4	7.1	21.4	0.0
	60歳代 (N=1)	n	1	0	0	0
		%	100.0	0.0	0.0	0.0
	合計 (N=493)	n	267	60	158	8
		%	54.2	12.2	32.0	1.6

- 仕事の継続意向については、5割超が「思う」と回答しているのに対し、「思わない」は1割台にとどまっています。また、およそ3人に1人が「どちらとも言えない」と回答しています。
- 性別にみると、「思う」との回答割合は、「男性」で6割超と、「女性」よりも高くなっています。
- 年齢別にみると、「思う」との回答割合は、「50歳代」が7割台であるのに対し、「20歳代以下」が4割となっており、年齢層によって仕事の継続意向に差がみられます。

現在、就いている仕事を続けたくない理由（就業者）



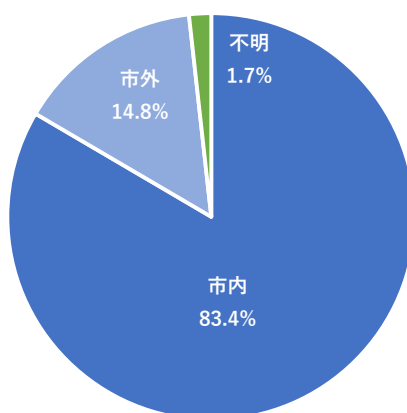
現在、就いている仕事を続けたくない理由（就業者）

			給与が低い	会社の将来に不安を感じている	仕事と家庭の両立が難しいと感じる (子育て支援や介護、保育環境など)	労働時間・休日等に不満がある	上司・経営者の仕事の仕方が気に入らない	仕事内容が面白くない、やりがいを感じない	人間関係に不満がある	その他
性別	男性 (N=7)	n	2	4	1	1	3	2	1	0
		%	28.6	57.1	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0
	女性 (N=52)	n	26	12	13	12	8	8	3	3
		%	51.0	23.5	25.5	23.5	15.7	15.7	5.9	5.9
年齢	20歳代以下 (N=6)	n	4	1	3	1	1	1	0	0
		%	66.7	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
	30歳代 (N=33)	n	15	9	7	9	6	6	1	2
		%	45.5	27.3	21.2	27.3	18.2	18.2	3.0	6.1
	40歳代 (N=21)	n	9	6	4	3	4	3	3	1
		%	45.0	30.0	20.0	15.0	20.0	15.0	15.0	5.0
	50歳代 (N=1)	n	1	1	0	0	0	0	0	0
		%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計 (N=61)		n	29	17	14	13	11	10	4	3
		%	48.3	28.3	23.3	21.7	18.3	16.7	6.7	5.0

- 「思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「給与が低い」が約5割で最も多くなっています。続いて、「会社の将来に不安を感じている」「仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）」などとなっています。
- 性別にみると、「男性」は「会社の将来に不安を感じている」の回答割合が約6割で最も高く、「上司・経営者の仕事の仕方が気に入らない」も4割超が挙げています。一方、「女性」では5割超が「給与が低い」を挙げ、「仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）」「労働時間・休日等に不満がある」も「男性」より回答割合が10ポイント超高くなっています。
- 年齢別にみると、「30歳代」では約3割が「労働時間・休日等に不満がある」を挙げています。
- 以上を踏まえると、就業継続に関する評価には、賃金水準、会社の将来性、仕事・子育ての両立のしやすさなどが関係していることがうかがえます。

(9) 就職・転職先

就職又は転職先構成比



就職又は転職するなら市内か市外どちらが良いか

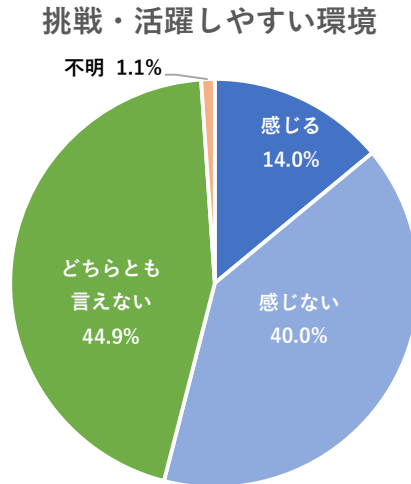
			市内	市外	不明	
性別	男性 (N=109)	n	81	28	0	
		%	74.3	25.7	0.0	
	女性 (N=458)	n	397	53	8	
		%	86.7	11.6	1.7	
年齢	20歳代以下 (N=45)	n	38	7	0	
		%	84.4	15.6	0.0	
	30歳代 (N=282)	n	233	42	7	
		%	82.6	14.9	2.5	
	40歳代 (N=229)	n	195	31	3	
		%	85.2	13.5	1.3	
	50歳代 (N=16)	n	11	5	0	
		%	68.8	31.3	0.0	
	60歳代 (N=1)	n	1	0	0	
		%	100.0	0.0	0.0	
	70歳以上 (N=1)	n	1	0	0	
		%	100.0	0.0	0.0	
	合 計 (N=574)		n	479	85	10
			%	83.4	14.8	1.7

- 就職又は転職するなら市内か市外のどちらが良いか尋ねたところ、8割超が「市内」、1割台半ばが「市外」と回答しています。
- 性別にみると、「市内」との回答割合は、「男性」よりも「女性」で高くなっています。
- 年齢別にみると、「市内」との回答割合は、「20歳代以下」「30歳代」「40歳代」で8割超となっています。

7. 調査結果（全世代＋子育て世代 共通質問）

※「全世代調査」と「子育て世代調査」の共通質問を合算した集計結果

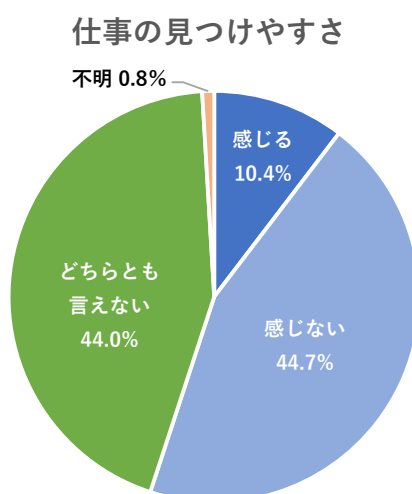
（1）挑戦でき活躍しやすい環境



挑戦でき活躍しやすい環境が整っていると感じるか

			感じる	感じない	どちらとも 言えない	不明
性別	男性 (N=590)	n	83	281	217	9
		%	14.1	47.6	36.8	1.5
	女性 (N=1,236)	n	178	443	606	9
		%	14.4	35.8	49.0	0.7
年齢	20歳代以下 (N=135)	n	35	37	63	0
		%	25.9	27.4	46.7	0.0
	30歳代 (N=456)	n	96	167	192	1
		%	21.1	36.6	42.1	0.2
	40歳代 (N=479)	n	66	198	215	0
		%	13.8	41.3	44.9	0.0
	50歳代 (N=305)	n	27	131	144	3
		%	8.9	43.0	47.2	1.0
	60歳代 (N=294)	n	23	121	145	5
		%	7.8	41.2	49.3	1.7
	70歳以上 (N=199)	n	16	91	84	8
		%	8.0	45.7	42.2	4.0
職業	農林水産業 (N=20)	n	2	8	10	0
		%	10.0	40.0	50.0	0.0
	自営業 (N=114)	n	15	51	46	2
		%	13.2	44.7	40.4	1.8
	会社員 (N=654)	n	103	290	257	4
		%	15.7	44.3	39.3	0.6
	公務員 (N=152)	n	32	39	81	0
		%	21.1	25.7	53.3	0.0
	団体職員 (N=44)	n	10	18	16	0
		%	22.7	40.9	36.4	0.0
	パート・アルバイト・ 派遣社員 (N=420)	n	52	162	202	4
		%	12.4	38.6	48.1	1.0
	専業主婦・専業主夫 (N=220)	n	21	70	128	1
		%	9.5	31.8	58.2	0.5
	学生 (N=21)	n	8	6	7	0
		%	38.1	28.6	33.3	0.0
無職 (N=175)	n	14	81	76	4	
	%	8.0	46.3	43.4	2.3	
合 計 (N=1,880)		n	263	752	845	20
		%	14.0	40.0	44.9	1.1

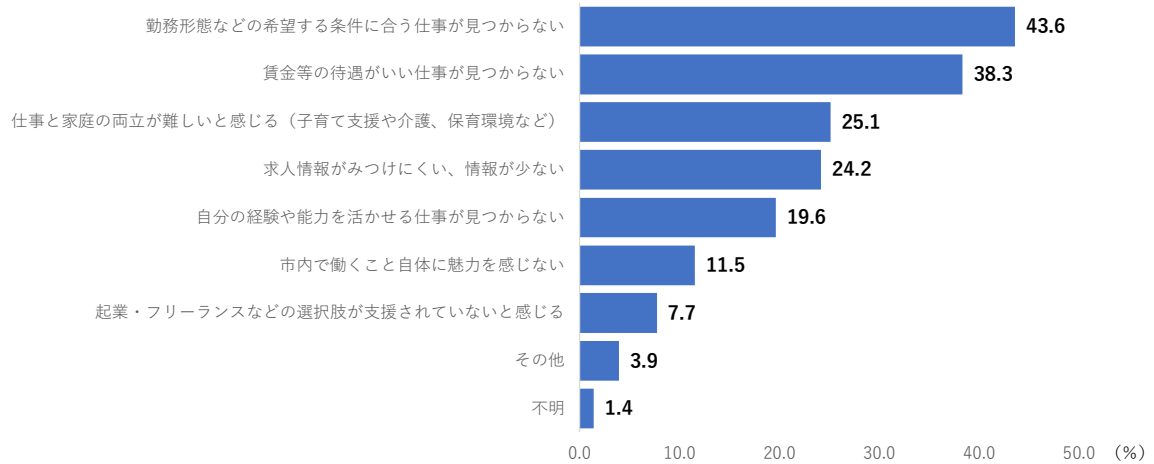
(2) やりたい仕事の見つけやすさ



市内でやりたい仕事を見つけやすいと感じるか

			感じる	感じない	どちらとも 言えない	不明
性別	男性（N=590）	n	67	305	213	5
		%	11.4	51.7	36.1	0.8
	女性（N=1,236）	n	125	507	594	10
		%	10.1	41.0	48.1	0.8
年齢	20歳代以下 （N=135）	n	29	58	48	0
		%	21.5	43.0	35.6	0.0
	30歳代（N=456）	n	83	199	172	2
		%	18.2	43.6	37.7	0.4
	40歳代（N=479）	n	40	207	230	2
		%	8.4	43.2	48.0	0.4
	50歳代（N=305）	n	26	152	126	1
		%	8.5	49.8	41.3	0.3
	60歳代（N=294）	n	14	130	145	5
		%	4.8	44.2	49.3	1.7
	70歳以上（N=199）	n	3	88	102	6
		%	1.5	44.2	51.3	3.0
職業	農林水産業 （N=20）	n	2	10	8	0
		%	10.0	50.0	40.0	0.0
	自営業（N=114）	n	10	58	44	2
		%	8.8	50.9	38.6	1.8
	会社員（N=654）	n	74	324	253	3
		%	11.3	49.5	38.7	0.5
	公務員（N=152）	n	19	51	82	0
		%	12.5	33.6	53.9	0.0
	団体職員（N=44）	n	11	20	13	0
		%	25.0	45.5	29.5	0.0
	パート・アルバイト・ 派遣社員（N=420）	n	48	172	197	3
		%	11.4	41.0	46.9	0.7
	専業主婦・専業主夫 （N=220）	n	15	87	116	2
		%	6.8	39.5	52.7	0.9
	学生（N=21）	n	6	7	8	0
		%	28.6	33.3	38.1	0.0
	無職（N=175）	n	6	81	84	4
		%	3.4	46.3	48.0	2.3
合 計（N=1,880）		n	195	840	827	18
		%	10.4	44.7	44.0	1.0

市内でやりたい仕事が見つからない理由

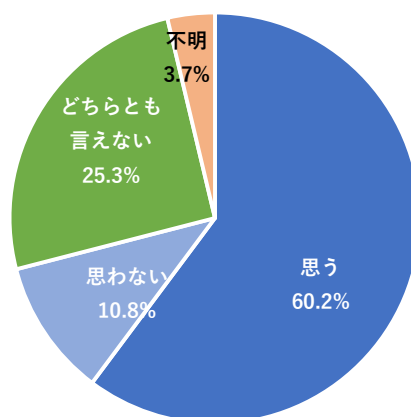


市内でやりたい仕事が見つからない理由

			勤務形態などの希望する条件に合う仕事が見つからない	賃金等の待遇がいい仕事が見つからない	仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）	求人情報がみつけない、情報が少ない	自分の経験や能力を活かせる仕事が見つからない	市内で働くこと自体に魅力を感じない	起業・フリーランスなどの選択肢が支援されていないと感じる	その他	不明
性別	男性（N=305）	n	106	132	43	70	91	47	31	12	5
		%	34.8	43.3	14.1	23.0	29.8	15.4	10.2	3.9	1.6
	女性（N=507）	n	256	180	161	126	71	43	32	18	6
		%	50.5	35.5	31.8	24.9	14.0	8.5	6.3	3.6	1.2
年齢	20歳代以下（N=58）	n	22	27	12	14	9	11	5	3	0
		%	37.9	46.6	20.7	24.1	15.5	19.0	8.6	5.2	0.0
	30歳代（N=199）	n	111	80	73	39	22	17	13	8	0
		%	55.8	40.2	36.7	19.6	11.1	8.5	6.5	4.0	0.0
	40歳代（N=207）	n	88	92	75	32	26	21	14	8	2
		%	42.5	44.4	36.2	15.5	12.6	10.1	6.8	3.9	1.0
	50歳代（N=152）	n	57	69	28	45	28	18	10	6	2
		%	37.5	45.4	18.4	29.6	18.4	11.8	6.6	3.9	1.3
	60歳代（N=130）	n	56	35	12	38	50	21	15	3	2
		%	43.1	26.9	9.2	29.2	38.5	16.2	11.5	2.3	1.5
	70歳以上（N=88）	n	31	19	10	33	29	9	7	5	5
		%	35.2	21.6	11.4	37.5	33.0	10.2	8.0	5.7	5.7
職業	農林水産業（N=10）	n	8	1	4	2	1	0	1	0	0
		%	80.0	10.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	自営業（N=58）	n	18	28	10	13	12	9	15	2	2
		%	31.0	48.3	17.2	22.4	20.7	15.5	25.9	3.4	3.4
	会社員（N=324）	n	127	161	82	56	58	35	23	14	4
		%	39.2	49.7	25.3	17.3	17.9	10.8	7.1	4.3	1.2
	公務員（N=51）	n	19	23	11	14	11	7	1	3	0
		%	37.3	45.1	21.6	27.5	21.6	13.7	2.0	5.9	0.0
	団体職員（N=20）	n	6	6	6	5	5	5	1	0	0
		%	30.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0	5.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト・派遣社員（N=172）	n	91	65	48	44	29	15	13	5	0
		%	52.9	37.8	27.9	25.6	16.9	8.7	7.6	2.9	0.0
	専業主婦・専業主夫（N=87）	n	57	10	37	26	12	6	2	4	3
		%	65.5	11.5	42.5	29.9	13.8	6.9	2.3	4.6	3.4
	学生（N=7）	n	1	2	0	1	2	4	2	0	0
		%	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	57.1	28.6	0.0	0.0
	無職（N=81）	n	33	19	6	33	27	12	4	5	1
		%	40.7	23.5	7.4	40.7	33.3	14.8	4.9	6.2	1.2
合 計（N=840）		n	366	322	211	203	165	97	65	33	12
		%	43.6	38.3	25.1	24.2	19.6	11.5	7.7	3.9	1.4

(3) 仕事の継続意向

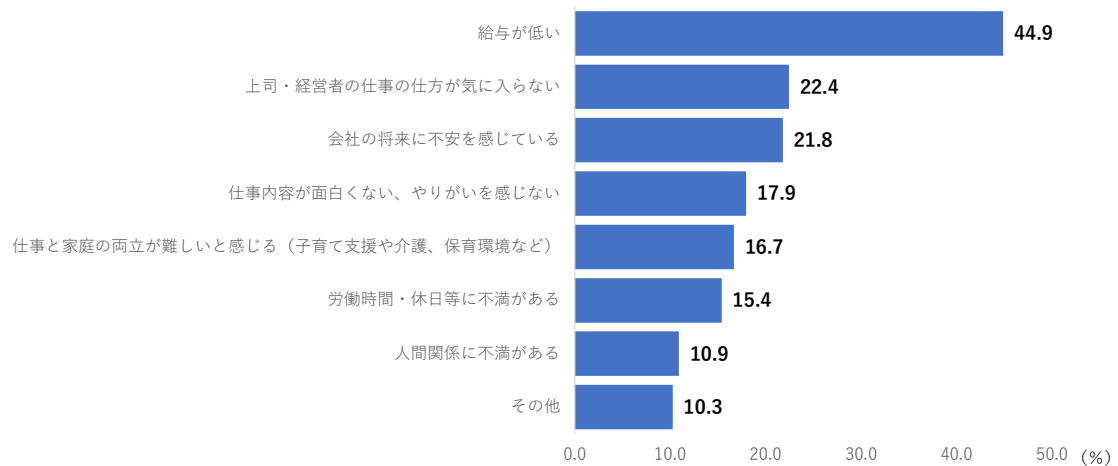
仕事の継続意向（就業者）



現在、就いている仕事を続けたいと思うか（就業者）

			思う	思わない	どちらとも 言えない	不明
性別	男性（N=488）	n	309	50	111	18
		%	63.3	10.2	22.7	3.7
	女性（N=922）	n	547	102	240	33
		%	59.3	11.1	26.0	3.6
年齢	20歳代以下 （N=107）	n	61	14	29	3
		%	57.0	13.1	27.1	2.8
	30歳代（N=399）	n	221	49	121	8
		%	55.4	12.3	30.3	2.0
	40歳代（N=424）	n	266	45	103	10
		%	62.7	10.6	24.3	2.4
	50歳代（N=271）	n	182	17	65	7
		%	67.2	6.3	24.0	2.6
	60歳代（N=186）	n	113	22	38	13
		%	60.8	11.8	20.4	7.0
	70歳以上（N=50）	n	29	8	10	12
		%	49.2	13.6	16.9	20.3
職業	農林水産業 （N=20）	n	9	2	4	5
		%	45.0	10.0	20.0	25.0
	自営業（N=114）	n	81	4	19	10
		%	71.1	3.5	16.7	8.8
	会社員（N=654）	n	399	79	168	8
		%	61.0	12.1	25.7	1.2
	公務員（N=152）	n	101	8	42	1
		%	66.4	5.3	27.6	0.7
	団体職員（N=44）	n	30	3	11	0
		%	68.2	6.8	25.0	0.0
	パート・アルバイト・ 派遣社員（N=420）	n	232	56	113	19
		%	55.2	13.3	26.9	4.5
合 計（N=1,448）		n	872	156	366	54
		%	60.2	10.8	25.3	3.7

現在、就いている仕事を続けたくない理由（就業者）

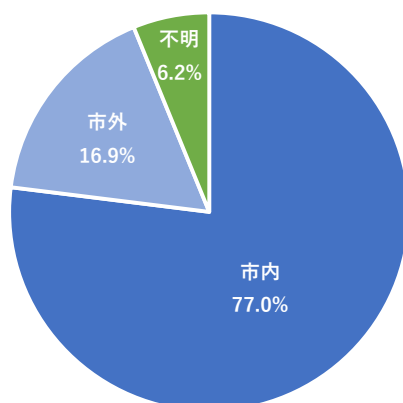


現在、就いている仕事を続けたくない理由（就業者）

				上司・経営者の仕事の仕方が気に入らない	会社の将来に不安を感じている	仕事内容が面白くない、やりがいを感じない	仕事と家庭の両立が難しいと感じる（子育て支援や介護、保育環境など）	労働時間・休日等に不満がある	人間関係に不満がある	その他
性別	男性（N=75）	n	16	11	10	15	5	24	8	8
		%	32.0	22.0	20.0	30.0	10.0	15.4	16.0	16.0
	女性（N=121）	n	52	23	22	12	21	24	9	8
		%	51.0	22.5	21.6	11.8	20.6	15.4	8.8	7.8
年齢	20歳代以下（N=34）	n	7	1	4	4	4	24	0	1
		%	50.0	7.1	28.6	28.6	28.6	15.4	0.0	7.1
	30歳代（N=72）	n	22	10	13	11	12	24	3	3
		%	44.9	20.4	26.5	22.4	24.5	15.4	6.1	6.1
	40歳代（N=47）	n	21	14	11	6	6	24	7	2
		%	46.7	31.1	24.4	13.3	13.3	15.4	15.6	4.4
	50歳代（N=26）	n	7	2	5	3	3	24	2	2
		%	41.2	11.8	29.4	17.6	17.6	15.4	11.8	11.8
	60歳代（N=15）	n	9	5	0	4	0	24	2	8
		%	40.9	22.7	0.0	18.2	0.0	15.4	9.1	36.4
	70歳以上（N=6）	n	4	3	1	0	0	24	3	0
		%	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	15.4	37.5	0.0
職業	農林水産業（N=1）	n	2	1	0	0	0	24	0	0
		%	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
	自営業（N=5）	n	0	1	0	0	1	24	0	1
		%	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	15.4	0.0	25.0
	会社員（N=111）	n	30	17	20	16	16	24	9	11
		%	38.0	21.5	25.3	20.3	20.3	15.4	11.4	13.9
	公務員（N=14）	n	1	2	1	2	3	24	0	0
		%	12.5	25.0	12.5	25.0	37.5	15.4	0.0	0.0
	団体職員（N=2）	n	3	0	0	1	2	24	0	0
		%	100.0	0.0	0.0	33.3	66.7	15.4	0.0	0.0
パート・アルバイト・派遣社員（N=67）	n	31	14	12	9	4	24	7	4	
	%	55.4	25.0	21.4	16.1	7.1	15.4	12.5	7.1	
合 計（N=200）		n	70	35	34	28	26	38	17	16
		%	44.9	22.4	21.8	17.9	16.7	19.0	10.9	10.3

(4) 就職・転職先

就職又は転職先構成比



就職又は転職するなら市内か市外どちらが良いか

			市内	市外	不明
性別	男性（N=590）	n	429	130	31
		%	72.7	22.0	5.3
	女性（N=1,236）	n	986	172	78
		%	79.8	13.9	6.3
年齢	20歳代以下 （N=135）	n	90	45	0
		%	66.7	33.3	0.0
	30歳代（N=456）	n	369	78	9
		%	80.9	17.1	2.0
	40歳代（N=479）	n	392	82	5
		%	81.8	17.1	1.0
	50歳代（N=305）	n	241	57	7
		%	79.0	18.7	2.3
	60歳代（N=294）	n	225	43	26
		%	76.5	14.6	8.8
	70歳以上（N=199）	n	125	10	64
		%	62.8	5.0	32.2
職業	農林水産業 （N=20）	n	15	2	3
		%	75.0	10.0	15.0
	自営業（N=114）	n	76	33	5
		%	66.7	28.9	4.4
	会社員（N=654）	n	523	128	3
		%	80.0	19.6	0.5
	公務員（N=152）	n	114	38	0
		%	75.0	25.0	0.0
	団体職員（N=44）	n	38	5	1
		%	86.4	11.4	2.3
	パート・アルバイト・ 派遣社員（N=420）	n	365	50	5
		%	86.9	11.9	1.2
	専業主婦・専業主夫 （N=220）	n	161	20	39
		%	73.2	9.1	17.7
	学生（N=21）	n	9	12	0
		%	42.9	57.1	0.0
	無職（N=175）	n	108	20	47
		%	61.7	11.4	26.9
合 計（N=1,880）		n	1,447	317	116
		%	77.0	16.9	6.2